



## 今月の ひとこと

日本フィランソロピー協会が「誕生日寄付」という活動に取り組んでいます。誕生日というのは命を授かった日です。そして、毎年、周りの人たちから成長を祝ってもらえる日です。そのことに感謝して子供たちの命を守り、育てる活動に寄付で応援しようというものです。私はこれはとても良いことだと思っています。ピギーちゃんのハッピー・マネー(r)四分法にも「ためる」「つかう」「ふやす」に加え「ゆずる」という項目があります。

こんなことをお子さんに勧めてみてはどうでしょう。一日のうちに他人から「ありがとう」と言われた数だけ10円をピギーちゃんの「ゆずる」に入れます。一年間それを続け、誕生日が来たらそのお金を日本フィランソロピー協会が提供してくれる「生きるを支える」「学びを支える」「外国人を支える」という三つのカテゴリーから寄付先を選びそのお金を寄付するのです。人に喜ばれることをして貯まったお金を人が喜ぶことのために使う。これはマネー教育のなかのとても大切な要素ではないかと思えます。

+++++

I-OWAからのお知らせ

●岡本和久の新著、「お金と心~200パーセントのしあわせ持ちになれるシンプルな生き方」(知玄舎、1400円+税、Kindle版は1080円)をテキストにした講演会を各地で行っています。8月4日(札幌)、9月22日(岡山)、10月5日(富山)、10月6日(金沢)の予定です。詳細・お申込みは下記のこくちーずのサイトをご覧ください。

8/04 札幌 <https://kokucheese.com/event/index/566960/>

9/22\* 岡山 <https://kokucheese.com/event/index/571940/>

10/05 富山 <https://kokucheese.com/event/index/572062/>

10/06 金沢 (こくちーず準備中)

\*: 9/21には岡山で「大人と子どものためのハッピー・マネー教室を開催します。

<https://www.kokuchpro.com/event/5007dd14ebb6cf567de6081e8417e9c3/>

+++++

毎年、ご好評をいただいている夏休み恒例、「大人と子どものためのハッピー・マネー(r)教室、今年は8月18日(日)の午後1:30~4:30に昨年と同じ東京八重洲ホールで開催します。今回は従来のハッピー・マネー(r)教室に加え「起業家になろう!」というテーマで以下の方をお招きして起業家とはどんな人たちなのか子供たちにお話をさせていただきます。

★鎌倉投信 代表取締役 鎌田 恭幸氏

★発明家・物理学者 齊藤 健氏

★株式会社テーブルクロス 代表取締役 城宝 薫氏

★株式会社和える 代表取締役 矢島 里佳氏

また、子供たちがワークショップをしている間に大人の方むけに起業家の方とのパネル・ディスカッションも開催予定です。そして最後はいつも大人がびっくりする子供さんたちの発表会です。

詳細・お申込みは以下のサイト(こくちーず)よりお願いします。

<https://www.kokuchpro.com/event/61227daec7a2e3e92af4d0362e3089bf/>

+++++

今年もピギーちゃんのサマー・セールを行います。期間は7月21日から8月31日までです。ピギーちゃん製品が10%引きです。加えて今年はお好きな二色を3000円(税・送料込み、二個まとめてお送りする場合に限定)でご提供します。定価(3900円 税・送料込み)と比べ23%のディスカウントです。さらにバック(12個単位 単色)価格は25%OFF。この機会をお見逃しなく。お買い求めはこちら⇒ <http://www.i-owa.com/happy-money/line-up.html>

+++++

FACEBOOK上で約3800人のクラブ・インベストライフの仲間が参加し、活発な議論をしています。投資未経験者の方の質問や疑問も大歓迎です。FACEBOOKに登録している方、ぜひ、ご参加ください。(FACEBOOKに継続的に投稿を行っている方に限定させていただきます)

## 100年人生を通じてのお金との付き合い方

講演: 岡本 和久

## クラブ・インベストライフとは?

人生を通じての長期投資は孤独な長旅です。この長旅に耐え、大きな喜びを得るには、資産運用を行うための基礎となる知識と孤独な旅を支えあう仲間が必要です。「将来の自分はいまの自分が支える」ほかない時代、クラブ・インベストライフの活動は、豊かで幸せな人生のための投資を目指しています。

毎月、ネット上で会報誌を公開するほか、FACEBOOKやTwitter上で議論の場を提供し、各地でのセミナーを開催しています。

まったく投資の経験のない方も多数、参加しておられます。大手金融機関から完全に独立しているため、特定の商品をお勧めすることも販売することも一切ありません。

## <FACEBOOK、TWITTERへの 投稿の際のお願い>

1. 個別商品の販売・推奨、あるいはそれに類する投稿はご遠慮ください
2. 発言はあくまで個人としてのものとしてください
3. 企業広告はご遠慮ください

## I-Oウェルス・アドバイザーズ のメール・マガジン

メルマガへのご登録は下記のメールアドレス宛に、空メールを送信下さい。購読は無料です。

[mag@i-owa.com](mailto:mag@i-owa.com)

毎月15日配信 無料

## Facebook

Facebook上のグループ、クラブインベストライフ  
<http://www.facebook.com/groups/investlife/>

Facebookへの登録が必要です。リクエストボタンを押して入会申し込みをしてください。

Facebookへはこちらをクリック

Twitter上のグループ  
クラブインベストライフ  
[http://twitter.com/c\\_investlife](http://twitter.com/c_investlife)

Twitterへの登録が必要です



バックナンバー | 一覧

- 2019年06月05日発行 Vol.198
- 2019年05月14日発行 Vol.197



2019年4月20日に開催された金融庁主催「つみたてNISAフェスティバル2019」における基調講話の要約です

[読んでみる](#)

- [2019年04月15日発行 Vol.196](#)
- [2019年03月15日発行 Vol.195](#)
- [2019年02月15日発行 Vol.194](#)
- [2019年01月15日発行 Vol.193](#)
- [2018年12月16日発行 Vol.192](#)

ウェブ化以前のバックナンバー

2012年12月までに発行されたインベストライフをご購入いただけます。

[購入・詳細](#)

## I-OWAマンスリー・セミナー講演より 人生100年時代に向けた欧米の個人投資家資産形成

講演：デービッド・セマイヤ氏 レポーター：赤堀 薫里

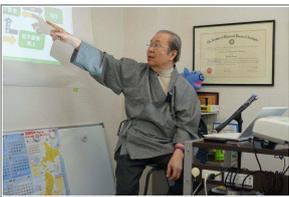


身体の健康管理と同様にマネーも健康管理が大切です。7つのポイントをお話します。1つ目は、まもなく人生100年時代が到来すると日本で話題になっています。日本の60歳の女性が90歳になる確率は過半数を超えています。セカンドライフにはお金がかかるので、その準備がものすごく大切。ハッピーセカンドライフを送るには、時間が大切です。お金の健康管理には、時間が味方にもなれば敵にもなることを是非覚えてもらいたいと思います。

[読んでみる](#)

## I-OWAマンスリー・セミナー講演より お金の過去・現在・未来 (1)

講演：岡本 和久 レポーター：赤堀 薫里



お金について過去に起こったこと、現在の状態、そして、それが未来にどうつながっていくのか、大きな流れをこの三回のシリーズで皆さんに掴んでもらいたいと思います。お金とは「感謝のしるし」です。自分の欲しいものや必要なものを得ることができて、「ありがたい」と思うから、自分が持っている大事なお金を相手に渡してあげます。働くことも人から感謝されることによって、自分の中に感謝が貯まっていく。貯まっていった感謝が信用になります。これは企業も国も全く同じことがいえます。

[読んでみる](#)

## 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸



★グーグル (Google) の由来 ★ヘレン・ケラーと塙保己一 ★なぜ日本に「山田耕作記念館」がないのか ★急がば回れ (の語源) ★「亡命」はどうしてこんな字なのか？

[読んでみる](#)

## 資産運用こぼれ話 本当に良いアドバイザーの選び方

寄稿：岡本 和久



2017年に米国のインベター・プロテクション・トラストという投資教育の組織を訪問しました。そこで強い印象を受けたのがアドバイザーを選ぶことの重要性です。投資の難しい理論や実践を学ぶ前にまず良いアドバイザーを選ぶことが必要であるということが強調されていました。

[読んでみる](#)

## インストラティブ・アーカイブより 「自分も社会も豊かになる投資ってなんだろう」(2004.5)

秋山 かね氏、河口 真理子氏、速水 禎氏、伊藤 宏一氏、澤上 篤人氏、岡本 和久

社会責任投資 (SRI)を考える 収益と、倫理や環境意識は両立するものだろうか?多くの投資家が悩むテーマである。そこで、既存の価値基準で投資対象をより分けるよりも、投資を通じて社会や企業行動を、自分の理想に近づけようという発想に変えてみてはどうだろうか。そこから投資家と経済の新たな関係が始まるのではないかと?

[読んでみる](#)

## 参考データ・コーナー

### 基本ポートフォリオのパフォーマンス

データ提供: [イボットソン・アソシエイツ・ジャパン](#) / 投信まとなび

基本ポートフォリオのパフォーマンス 6月は4資産成長型が2.80%、2資産成長型が3.66%のパフォーマンスでした。世界各地のパフォーマンスは <https://www.ibbotson.co.jp/market/> でご覧いただけます

[読んでみる](#)

### 投信データ・ウォッチ

データ提供: [イボットソン・アソシエイツ・ジャパン](#) / 投信まとなび

今回は純資産上位ファンド (毎月および隔月決算型を除く) の運用状況の運用状況をリストアップしていただきました。2019年6月時点でトップはひふみプラス (レオス)、2位が野村インド株投資 (野村 A M)、3位がグローバル・ロボティクス株式ファンド (年2回決算型) (日興AM)でした。

[読んでみる](#)

## I-OWAたより

### 岡本和久のI-OWA日記

◆ジョアン・ジルベルトさんが88歳で逝去 ◆「お金と心のおはなし」IN秋田&仙台 ◆インベストラティブ6月15日号の巻頭言 ◆第165回I-OWAマンスリー・セミナーが開催されました

[詳細はこちらをご覧ください。](#)

### セミナー案内

7月21日 (日) 12:30~16:30 東京 I-OWAマンスリー・セミナー (166回)

■会場: 東京都渋谷区広尾1-8-6-7F (当社オフィス)

<http://www.i-owa.com/company/access.html>

■プログラム

12:30~13:30 「お金の過去・現在・未来 (3)」 (講師: 岡本 和久)

13:40~14:40: 「家計のリスク性金融資産保有の日米格差: 年収階層別の保有シェア推計」 (山口 勝業氏)

14:45~15:30: フリー・ディスカッション

15:30~16:30: 懇談会

■スポット受講料: 教室での受講は10000円+税 予約必須、動画での受講は5000円+税 お申込み、お問合せ: [info@i-owa.com](mailto:info@i-owa.com)

7月25日 (木) 9:45~17:50 東京 Japan Investment Conference 2019

■会場: 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン5F 東京コンベンションホール

■岡本登壇(パネルセッションIII 岡本 和久、Barton Waring氏、岩城 みずほ氏 (モデレータ))

■参加費: 10000~30000円 (ステータスによります)

■詳細・お申込みは以下で <https://cfainstitute.force.com/s/lt-event?site=a0Wj000000Dv6cBEAR&id=a1Of1000002ctmdEAA>

8月4日 (日) 13:30~16:30 札幌 岡本和久講演会 岡本和久「お金と心」のおはなし

■会場: 札幌公務員受験学院ビル4F (北海道札幌市北区北8条西5丁目2-3)

■プログラム: 講演 お金と心のおはなし (岡本 和久)、質疑応答

■参加費：2000円 テキストとして岡本和久著「お金と心」（知玄舎、1400円+税）を使います。お求めいただきご持参ください。会場での販売もあります

■お申込み：こくちーず <https://kokucheese.com/event/index/566960/>

8月18日（日）13：30～16：30 東京 「大人と子どものためのハッピー・マネー(r)教室」（I-OWAマンスリー・セミナー（167回））

■会場：東京八重洲ホール 2階 201会議室 TEL03-3201-3631 東京都中央区日本橋3-4-13 新第一ビル（東京駅八重洲中央より徒歩約3分）

■プログラム：

(1) 「『ハッピー・マネー（r）四分法』と『起業家になろう！』」

講師：岡本 和久、Labi（歌唱指導）

(2) 「起業家の話を聞こう！」

講師：株式会社 和える 代表取締役 矢島 理佳氏

齊藤健国際電磁場研究所 代表 齊藤 健氏

株式会社 テーブルクロス 代表取締役 城宝 薫氏

鎌倉投信株式会社 代表取締役 鎌田 恭幸氏

(3) パネル・ディスカッション モデレーター：岡本 和久

パネラー：上記（2）の方々

（この時間お子様はワークショップをしていただきます）

(4) お子様による発表会

■参加費等：

マンスリー・セミナー会員様（教室・ネット）およびご同行のお子様：無料

会員様以外の大人：1000円、お子様（高校生以下）：500円

■定員：50名

■お申込み：お申込みは以下のこくちーずのサイトからお願いします

<https://www.kokuchpro.com/event/61227daec7a2e3e92af4d0362e3089bf/>

9月15日（日）12:30～16:30 東京 I-OWAマンスリー・セミナー（166回）

■会場：東京都渋谷区広尾1-8-6-7F（当社オフィス） <http://www.i-owa.com/company/access.html>

■プログラム

12：30～13：30：「正しいアドバイザーの選び方」（岡本 和久）

13：40～14：40：「人はなぜ間違えた選択をするのか」（エコノミスト/久留米大学教授・塚崎 公義氏）

14：45～15：30：フリー・ディスカッション

15：30～16：30：懇談会

■スポット受講料：教室での受講は10000円+税 予約必須、動画での受講は5000円+税 お申込み、お問合せ：info@i-owa.com

m

9月21日（土）13：30～16：00 岡山 大人と子どものためのハッピー・マネー（r）教室 IN 岡山

■会場：倉敷物語館会議室（岡山県倉敷市阿知2丁目23?18）

■プログラム

(1) ハッピー・マネー（r）教室

(2) ワークショップ

(3) 発表会

■受講料：高校生以上1000円、中学生以下：500円

■定員：30名

■お申込み：こくちーず

<https://www.kokuchpro.com/event/5007dd14ebb6cf567de6081e8417e9c3/>

9月22日（日）10：00～12：30 岡山 長期投資、お金と心のおはなしIN岡山

■会場：岡山商工会議所ビル会議室405号室（岡山県岡山市北区厚生町3丁目1-15）

■プログラム：

講演1 『人生が変わる長期投資思考』石井 総一郎氏

講演2 『お金と心のおはなし』岡本 和久CFA

■参加費：2000円（岡本講演ではテキストとして「お金と心～200パーセントのしあわせ持ちになれるシンプルな生き方」（知玄舎刊、1400円+税）を使います。事前にお買い求めいただきご持参ください。会場でも販売します）

■定員：100名

■お申込み：こくちーず <https://kokucheese.com/event/index/571940/>

[詳細はこちらをご覧ください。](#)

Page Top



### 「100年人生を通じてのお金との付き合い方」

講演：岡本 和久

(以下は2019年4月20日に開催された金融庁主催「つみたてNISA フェスティバル 2019」における基調講話の要約です)

<はじめに>

こんにちは。ただ今ご紹介いただきました岡本和久です。投資教育家で、かつファイナンシャル・ヒーラー®を名乗っています。人生を通じての長期投資は、始めるのはそんなに難しいことではありません。しかし、人生を通じて、非常に長い期間投資を続けていくので、その間は山あり谷ありです。心が騒ぐこともしばしばあります。重要なことは続けていくことで、それが最も大きなチャレンジなんですね。そういう意味で、長期投資の途中で起こる心の震えを少しでも癒してあげるといいたいということで、ファイナンシャル・ヒーラー®、癒し人を名乗っているのです。



のっけから少し暗い話なのですが、最近、世の中で幼児の虐待だとか DV だとか、親族間の問題、あるいは組織の不正行為、さらに大国の自国優先主義というようなことも目立っています。どうも暗いニュースが多いのですが、そういう問題の全てに共通している原因は、私はやはりみんなの意識が非常に狭くなっているところにあるのではないかと考えています。

みんな、今の自分という狭い、小さなところに意識が凝り固まってしまっている。人のことを考えない、先のこと考えない。世界のことも考えないで、何世代も後の未来のことも考えない。みんな今の自分にとって良いことが一番大切だという意識で心が占められてしまっている。私は、意識の空間軸、時間軸をみんながもっともっと大きく広げていくことによって、自分自身も良くなるし世界も良くなるだろうと思っています。そういう意味で、小さな箱の中から少しずつでも飛び出して行ってほしいと思っています。



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

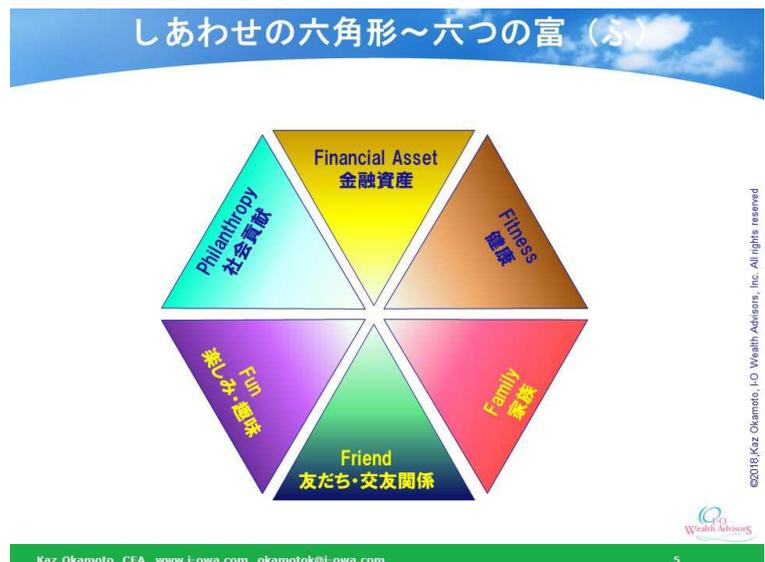
投資のことやお金のことを深く考えていくことは意識を広げていく上で非常に有益です。また意識が広がっていくことで迷うことなく長期投資を続けていくことができます。今日はそのようなお話をしたいと思っています。

最初に、人生の目的について考えてみましょう。我々、別にお金持ちになるだけのために毎日、生きているわけではありません。もちろん、お金も大事ですがそれが全てではありません。では何でしょう。出世でしょうか。確かに高い立場に立ってみんなのために良い仕事をしていらっしゃる方も多いと思いますが、出世が人生の目的というのも少々寂しいでしょう。では、何のために生きているのか。毎朝起きて、夜になると寝るといった繰り返しの中で、どこに向かおうとしているのか。

我々みんな「しあわせ持ち」になるために生きているのです。我々みんな幸せになりたいんです。死ぬ時に自分は幸せだったなと思って死にたい。それが我々みんなの目標だと思うのです。

幸せになるためにはいろいろな要素がありますが、私はこの六つを考えています。それらは金融資産、健康、家族、友達や交友関係、趣味や楽しみ、そして社会貢献です。

お金もその一つです。でもお金だけがあっても、その他がみんなボロボロだったら、しあわせ持ちとは言えないのです。全体のバランスが取れていることが大事なのです。しかも、その六角形が外側に大きく広がっている方が我々は幸福度が高いのです。



最近、「100年の人生」ということが盛んに言われるようになってきました。私が「100歳までの長期投資」という本を書いたのが2007年です。今から10年以上前です。その当時「100歳までの」などと言うと、とんでもないことを書いているようなイメージがありました。何か「本を売りたいために刺激的なタイトルを付けているのだろう」と思われたかもしれません。でも、「ようやく世間が私の考えに追いついてきたな」と実は一人でほくそ笑んでいます。

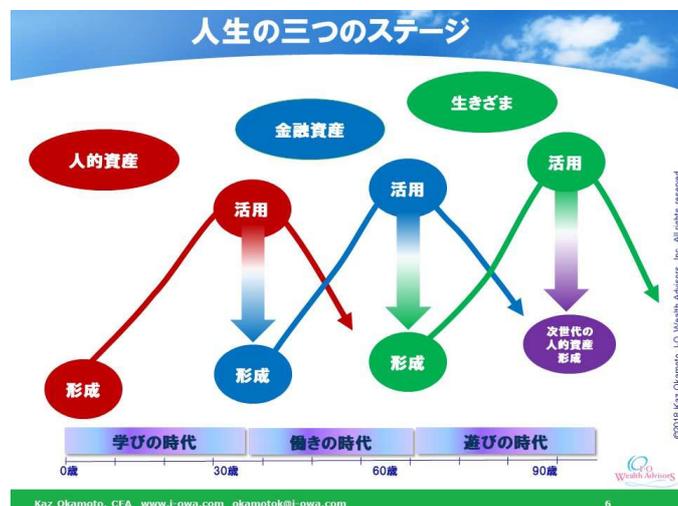
100年の人生を考えると大きく三つのステージに分けることができると思います。「学びの時代」、「働きの時代」、そして「遊びの時代」です。「学びの時代」というのは人的資産を形成する時代です。我々が世の中に貢献するための人的資産を形成する時期です。次の「働きの時代」は人的資産を



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

活用して世の中に貢献し、それを金融資産に変換していく時期です。そして「遊びの時代」はその金融資産を活用する時代です。何を形成するかと言うと「生き様」を形成します。「あの爺さん、かっこいいな」とか「ああいうお婆ちゃんに私もなりたい」というようなロールモデルを見せてあげる。これが生き様の形成ということです。そのように生き様を見せてあげることによって、次の世代の人的資産の形成に資することになります。

そういう意味では人生というのは非常に面白いですね。「学びの時代」、「働きの時代」、「遊びの時代」というステージの中で、形成、活用を繰り返しながら世代を超えて繋がっていく。今日はこの三つのステージにおけるお金との付き合い方についてお話をしたいと思います。



### <学びの時代のお金との付き合い方>

まず、学びの時代のお金との付き合い方です。私は過去 15 年ぐらい中学校や高校で出張授業という活動を続けています。授業の始まる前に子供たちにいつもアンケートを取ります。

ほぼコンスタントに 6~7 割の子供が、お金は汚いもの、お金持ちは悪い人、というイメージを強く持っています。これは非常に大きな問題だと私は思っています。お金、あるいは、お金を稼ぐことにもっとポジティブな考え方がないと経済も成長しないし、世の中も良くなっていかない。一方、お金を稼ぐことが良いことだと思っている子供と、お金を稼ぐのであれば人に喜ばれることをして稼ぐのがいいと思っている子供の比率もほぼ 100%です。これはとても健全です。ただ残念ながら家庭でお金のお話をするのはだいたい半分くらいであまり多いとは言えない。

こんな問題意識から私はずっと子供向けのマネー教育をしているわけです。私の教室は「ハッピーマネー®教室」と呼んでいます。一番多い対象は、小学生から中学生、高校生です。

私の授業で一番に子供たちに伝えたいのは、人生の目的は「しあわせ持ち」になることだということです。先程お話をした六つの富、しあわせの六角形を話して聞かせます。子供たちはあまり自分の人生ということについて考えてはいません。これは無理もないでしょう。ただ、自分の長い人生の中で、今は「学びの時代」だということだけはしっかり教えたいと思っています。そして、次の「働きの時代」の準備期間なのだとことを知ってほしいのです。



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

次に、「働きの時代」には「学びの時代」に形成した人的資産を活用するのだということを理解してもらいたいので、次のような話もしています。働くということは先ほどの幸せの六角形で言えば、お金のためでもあります。同時に社会貢献であり、それが自分にとっての楽しみでもあるわけです。人のお役に立つということは非常に大きな喜び、楽しみです。働くということはつらい苦しいことではなく、世の中を良くしていくことに参加して、みんなから感謝をされ収入を得る、楽しいことであるということを理解してもらいたいのです。

「じゃあお金っていったい何なんだろう」、「どうしてお金って大事なんだろう」、そんな質問を投げかけます。大体の子供が「お金がないと生活ができない」、「必要なものが買えない」などと答えます。「なぜ、そんなことを聞くのだろう」とちょっと怪訝そうな顔をする子も多いのです。そこで、「じゃあ、ものすごくたくさんお金を持っていて、無人島で一人で住んでいたらどうなの?」と聞くとみんな困ってしまいます。無人島ではいくらお金を持っていてもその価値がない。お金というものは自分が必要なものや欲しいものと交換できるから価値があるのです。必要なものや欲しいものが手に入ればありがたいと思う、嬉しいと思う、だから自分が一生懸命稼いだお金を相手に渡す。

ここで、一番大切なメッセージを与えます。それは「お金は感謝のしるし」ということです。このお金は感謝のしるしだということを原点にしていろいろな事をもう一度考え直してみる。そうすると随分違ったものが見えてくるのです。さっきお話しした子供たちの「お金は汚いもの」、「お金持ちは悪い人」というイメージも変わってきます。

ATM からなぜお金が出てくるのか分からないと言う子供が非常にたくさんいます。ATM はお金が自動的に出てくるものだと思っているようです。ATM からお金が出てくる背後では、保護者の人が会社で働いていい仕事をしている。会社に感謝をされ、お金が銀行に振り込まれている。だからATM からお金が出ることに気付いてもらいます。

例えば自分の保護者がチョコレート工場に働いているとしましょう。その人がいい仕事をしてきているから会社は感謝のしるしの月給を銀行に振り込んでくれる。だからATM からお金が出てくる。この会社はチョコレートをお店に卸します。お店の人はこれでいい商売ができてありがたいと思うからその代金を払う。そしてお店に来た消費者はおいしいチョコレートが食べられてありがたいと思うからチョコレートの代金を払う。こうしてお金と感謝は手に手をとって世の中をめぐっているのです。

そのたった一枚のチョコレートも、コートジボワールとかガーナの暑いところで毎日、毎日、カカオの実をとっている子供たちだっているわけです。その子供たちがとってきた実を割ると中に豆が入っている。その豆を乾燥して袋に詰め、トラックに乗せ、港で船に積み替え、日本に持ってくる。それが工場に運ばれ加工されてチョコレートになる。そして店頭で並ぶ。その長い過程を経てお店で売られる板チョコが1枚100円少しなわけです。1枚100円ちょっとの板チョコの中に世界中の人



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

たちの労働が全て詰まっているんです。これを考えると世界中の我々みんな繋がっているということを実感します。

子供たちから一番よく聞かれる質問が「楽しんで儲ける方法はありませんか」ということです。楽しんで儲けることはできません。儲けるためには働かなければいけない。働くということは「はた」の人を「らく」にしてあげることです。自分が楽をしようとしたら、自分がお金を払う側になってしまいます。人を楽にしてあげてこそ人から感謝され、そして収入を得ることができるのです。「楽しんで」儲けることはできません。でも「楽しく」儲けることは出来ます。人に感謝をされることほど自分にとって楽しいこと、嬉しいことはないのです。「楽しんで」と「楽しく」。たった一字の違いですが大きな違いがあります。

仕事というのはまさに世の中に「仕」える「事」であって、人々から感謝をされて受け取るものです。そして感謝のしるしのお金が貯まるとそれが信用というものになります。信用が増えるとビジネスがうまくいきます。感謝をされることによってその人の信用が高まるのです。

人から感謝をされて稼いだお金をどのように使うか、その使い方を教えるのが「ハッピー・マネー®四分法」です。私どもでアメリカの会社から輸入販売をしているものです。これはピギーちゃんという名前です。ぶたさんですからピギーちゃん。今日は何かグリーンのを身に着けるか、持って来るようにという「サムシンググリーン」というご要望があったので緑色のピギーちゃんを持って来ました。そのほかにブルー、ピンク、ゴールド(ブライト・イエロー)があります。



普通の豚の貯金箱は背中に穴が一つあります。ピギーちゃんには背中に四つ穴が開いています。胴体も四つの部屋に分かれていて、それぞれの部屋がそれぞれの足に繋がっています。一番左の穴にお金を入れると頭のところにお金が入って、この足から出る。そのような構造になっています。もらったお小遣いを自分なりに考えて四つの使い方に分けます。親は何も言いません。自分で決めさせるのです。その四つの使い方というのが、「貯める(セーブ)」、「使う(スPEND)」、「ゆずる(ドネイト)」、「増やす(インベスト)」です。言い換えれば貯蓄、消費、寄付、投資です。

「使う」というのは簡単にわかります。要するに今欲しいものを買うということです。「貯める」は、本当は使いたいお金を我慢して使わずに増やすことによって、大きな買い物をして、大きな喜びを得ることです。我慢のご褒美として喜びが大きくなる。これは難しくいえば時間価値ということになります。



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

時間価値がよくわかるのが複利の法則です。ご存知の方も多いかと思いますが「72の法則」というのがあります。「利率×年数=72」になるような組み合わせで資産が倍になる。3%だったら24年で倍になる。今の預金金利だと縄文後期ぐらいに預金をしていたのがようやく倍になっていることになります。要するに少なくとも今の金利では増えないということです。

ピギーちゃんの一番お尻のところにあるのが「増やす(投資)」です。投資というものの本質を少しお話しておきたいと思います。今すぐ必要としないお金を、今すぐお金を必要とする人や会社に使わせてあげる。これを投資と言います。お金を使わせてもらった人は、そのお金でビジネスの種をまき、陽に当てたり、水をやったり、肥料をやったりして、ビジネスの木に育てていきます。世の中のみんなに感謝をされるような仕事をすることで、感謝のしるしのお金はその会社にたくさん集まってきます。その一部分がずっと将来の自分のところに戻ってくる。これが投資というものの本質です。現在の大きな会社も最初はこのようなところから始まっているのです。

お金を使わせてもらっている会社は「お金を出資していただきました」ということを証明する物を発行します。それが株式というもののなのです。つまり、株式というのは企業の資産の一部分のオーナーであることの証明書のようなものです。もっとも今は実際の紙の証明書があるわけではなく、コンピューターの中に記録として存在しているだけです。

もちろん、お金を出した人がどうしてもお金が必要になることがあります。その場合には株式を売る必要があるのです。一方でその会社の株式を買いたいと思っている人もいます。そのような時に買い手と売り手が容易に取引できるようにするために存在するのが株式市場です。株式市場でたくさん売りたい人と買いたい人が取引をしてそこに株式の値段がつくのです。ところが、多くの方がこの株式市場での値段ばかりを見ている。それが投資だと思っている。実はその後ろ側に経済活動があるということを実感を持って知っていただきたいと私は思っています。

最後になりましたが「ゆずる」、これは寄付ですね。これは困っている人や世の中のためになることのために自分のお金を使ってもらうことです。お金でなくて労働や時間でも構いません。つまり他の人に喜んでもらうことをする。それによって自分もうれしい。他人の笑顔は自分の笑顔なのです。

例えば1万円の余裕資金があるとします。その1万円で霜降りのステーキを食べるか、発展途上国のフォスター・ペアレントになるか。どちらでも良いのですが、3回ステーキを食べるのなら、そのうちの一回分でフォスター・ペアレントになった方が、より自分にとってトータルの幸福感は大きいかも知れません。その方がより大きなしあわせ持ちになれるかもしれないのです。

これでお分かりいただけるように「使う」というのは今の自分のため、「貯める」は少し先の自分のため、「ゆずる」は自分のためではなくて困っている人、世の中のため、「増やす」というのは、すぐ



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

に必要なお金、今お金を必要とする会社に使ってもらって、その会社を通して社会に貢献してもらい、みんなから感謝をされ、感謝のしるしが集まる。その一部がずっと将来の自分の元に戻ってくるというものです。「ハッピー・マネー®四分法」によって意識の時間軸と空間軸が広がっていくのです。子供たちが小さいころからピギーちゃんを身近に置いてお金の配分のことを考えていくことで意識がだんだん広がっていく効果があります。大切なことは自分で考えさせることです。

お金でわかることは、我々みんな繋がっているということ。我々はみんなご縁のネットワークの中に存在しているということです。そして投資とは時間をどう使うかということです。時間をどう使うかということは、言い換えれば、どう生きるかということにつながります。つまり、お金や投資のことを小さいうちからこのピギーちゃんのような教材を使って慣れ親しんでいくことで、自然に意識の時間軸と空間軸が広がっていく効果があると思います。

### <「働きの時代」のお金との付き合い方>

以上が「学びの時代」のお金との付き合い方です。次に「働きの時代」に入ります。ジョン・レノンのイマジンという歌に「想像してごらん 国なんて無いんだと・・・」という歌詞があります。国がなければ、公的年金も国民健保も無く、そして税金も無いでしょう。そうなったら、みんな自立して生きることになりますね。現状はこれほどのことではないのですが、もし、国も企業も全然支援をしてくれないとしたら皆さん自分自身で自分のことを考えざるを得なくなるでしょう。

「長寿化はグッド・ニュースです。でも、より長く働き、より多くの資金を準備しなければならないことを認識すべきです。」(ノーベル経済学賞受賞者、ロバート・マートン)

これはロバート・マートンというノーベル経済学賞を取った方のコメントです。ここで大切なことは「将来の自分を支えるのは今の自分だ」ということです。

「毎年の収入は今年の生活費と将来の生活費の両方であることを知るべきです。」(行動経済学者、ダン・アリエリー)

こちらはダン・アリエリーという新進気鋭の行動経済学者が述べていることです。これは非常に重要なポイントです。今年の収入は、今年の生活費と将来の生活費の両方である事、これは本当にその通りだと思います。今の給料全額を今、全部、使って生活していたらリタイアした後で必ず困ります。年金はもちろんもらえるでしょう。でも、年金だけで生活することはできないのです。やはり自助の部分がかなり必要だということを言っているのです。再度、言います。最も大切なことは「将来の自分は今の自分が支える」ということです。

退職後の一番大きなリスク、それは生活の質が極端に下がってしまうことです。これをどのように避けるかというのが重要なポイントなのです。左側の棒グラフを見ていただきますと、毎年の収入が出ています。緑の部分を今の生活費にあててブルーの部分を退職後のために取っておくとしま



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

しょう。ただ、今、貯めた資金を使うのは 30~40 年後かも知れない、ずっと先です。その間に物価も上がります。そうすると物価の上昇分だけ貯めたお金の価値が減ってしまいます。購買力が減るのです。では、物価上昇率並に投資でリターンを上げていったらどうでしょうか。そうすると確かに購買力は維持できますが、就業中の生活費と比べると大幅に下がってしまいます。図では緑の部分で生活していたのが、赤と紫の合計に減少するのですから、相当、耐乏生活をしなければならない。そこでプラス・アルファのリターン(黄色の部分)を得る必要がある。それに年金や若干の収入があれば退職後の生活もそれほど生活の質を下げないで維持することができることとなります。ここからわかるように資産運用の目的は「購買力の維持プラス・アルファ」ということです。

プラス・アルファを稼ぐためには株式を保有することが必要になります。株式のリターンの中には、数量の成長と価格の上昇その両方が含まれているからです。つまり購買力を維持しつつプラス・アルファを稼ぐことができるのが株式なのです。

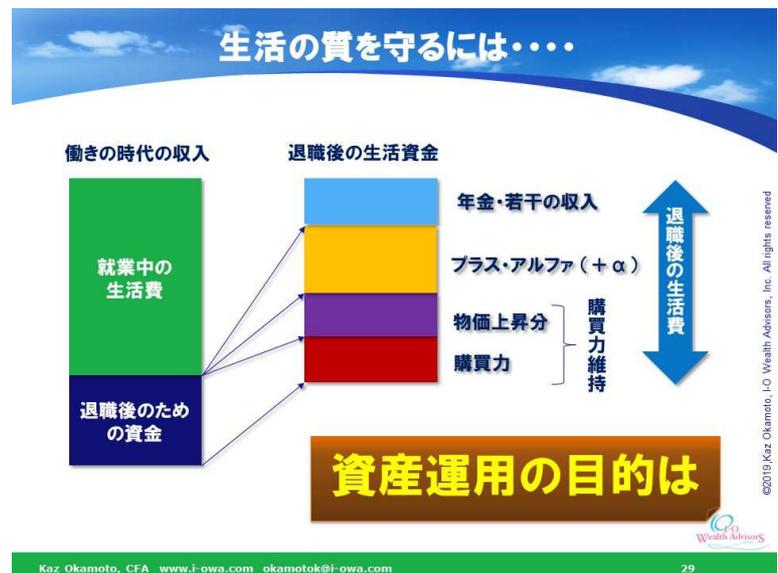
全世界の名目経済成長は全世界の企業が実現しているものです。つまり長期的に見れば世界の名目経済成長率は世界の民間企業の付加価値の増加とほぼ等しいのです。全世界の株式に投資をするようなファンドを保有していれば実質成長プラス物価の上昇、つまりデフレーター部分の合計をリターンとしていることができるわけです。

ではそのためにどうしたらいいのか。答えは簡単です。

全世界の株式インデックス・ファンドをできるだけ若いうちから毎月定期的に一定額を積み立てる。そしてリタイアするまで絶対に止めない。

私は 18 歳になったら少しずつでも積立投資をすべきだと考えています。そして、それをリタイアするまで何十年も絶対に止めないこと。実はこれが一番難しいのですが、長期に続けなければその効果も出ません。

いろいろな疑問や質問もあると思いますが、この後の講演でもいろいろ解説があると思いますので、ここでは、「なぜグローバル投資なのか」ということと「なぜインデックスか」という 2 点についてお話をしておきたいと思います。





## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

我々の生活は世界中の企業によって支えられています。世界中の企業のトータルで見た株式のリターンの中には、世界経済の数量の成長と物価の上昇の両方が含まれています。我々の生活を支えてくれている世界中の主な企業全てを保有してしまえばいいのです。つまり全世界の株式ポートフォリオを保有していれば購買力の維持プラス・アルファという二つの目的が達成されるのです。しかも投資信託を使えば一回の飲み代ぐらいで十分、世界中の主要企業を保有する投資信託を買うことができます。

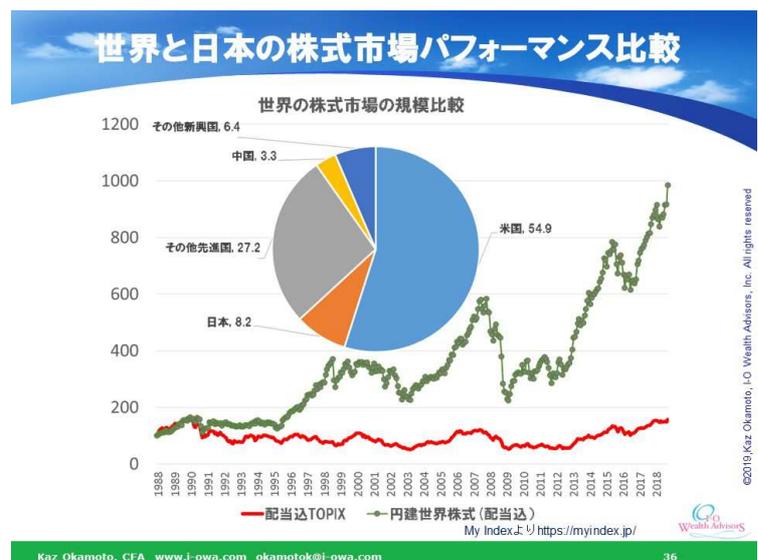
投資信託を使う大きなメリットは、分散投資が簡単にできるということです。分散も、国や地域、産業と企業、大きい企業も小さい企業も、高度成長企業も安定成長企業も全てをまとめて保有するのです。まさにキーワードは「分散・分散・分散」なのです。

結論から言うとグローバルの株式インデックス・ファンドをただひたすら毎月、一定金額を投資し、保有し続けられればよい。自動引き落としで自動的に買い付けてくれるようにしておけば後は忘れていてもいいのです。

これは1988年からの日本の株価(赤線)と円換算をした全世界の株価(緑線)、もちろんこちらには日本株も含まれていますが、それらを比較して示したものです。平成が始まってから日本のマーケットというのはまだ3割ぐらい下にいますよね。世界の株式市場は円建てで見ても大体13倍ぐらいになっています。

これだけ大きな差が開いてしまっている日本は、全世界の株式市場の中では10%弱のシェアでしかありません。ですから全体としては影響度は小さいのですが、我々としては、やはり日本の企業にもう少し頑張ってもらい、魅力ある投資対象となってほしいと思っています。

次に、なぜインデックスかということをお話します。インデックス運用の有効性については、いろいろな理論的な進化がありました。効率的市場仮説、敗者のゲーム論、アクティブ投資の算術論などがありました。その中で「アクティブ投資の算術論」について少しだけお話をしておきます。これはウィリアム・シャープ先生の理論です。アクティブで運用しているすべての資産をまとめれば市場全体になります。ですからアクティブ総体としてのパフォーマンスは市場全体と等しくなるはず。ただアクティブ運用は頻りに売買をします。その分のコストは必ず市場のリターンから





## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

差し引かれることとなります。マーケット全体のリターンよりアクティブ全体のリターンは定義上、マーケットの構造上、下回るのです。

つまり、マイナスサムの世界の中でお互いに競争しているのがアクティブ運用なのです。この議論の特徴は市場の効率性という観点から離れて、インデックス運用の優位性を明確にした点で非常に意味のあるものです。

ここでは一本で全世界の株式に投資できる四つのファンドを紹介しています。そのうち、上の三つは金融庁がつみたてNISA 対象ファンドとして紹介したものです。最後の一つは最近出たファンドで注目されているものです。

例えばBのファンドはバンガード・トータル・ワールド・ストック ETF を保有しています。このファンドに投資をすると投資すると全世界 40 数カ国 8000 銘柄にファンドを通して間接的ではありますが投資ができることとなります。

全世界の株式に投資できる投資信託					
ファンド名	最大申込手数料	年間運用費用概算(税込)	運用会社名	販売会社	
A SBI・全世界株式インデックス・ファンド	0.00	0.15	SBI AM	カブドットコム証券・楽天証券・SBI証券・松井証券	
B 楽天・全世界株式インデックス・ファンド	0.00	0.2296	楽天投資	エイチ・エス証券・カブドットコム証券・ソニー銀行・フィデリティ証券・マネックス証券・楽天証券・立花証券・SBI証券・橋本銀行・松井証券・ジャパンネット銀行・岡三オンライン証券・GMOクリック証券	
C 全世界株式インデックス・ファンド	2(つみたてNISAは0)	0.5184	ステート・ストリート	三井住友信託銀行・カブドットコム証券・マネックス証券・楽天証券・SBI証券・東京スター銀行・中国銀行・東北銀行・松井証券	
D eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	0.00	0.1534%	三菱UFJ国際投資	カブドットコム証券・マネックス証券・楽天証券・SBI証券・松井証券・岡三オンライン証券	

データ：まとなび（2019年3月）

A~C:金融庁による「つみたてNISA用」対象商品の要件（指定全世界株式インデックス投資信託）

2019/4/12 www.i-owa.com 38 LO Wealth Advisors, Inc.

大きな投資先はアップル、そして、マイクロソフト、アマゾン、アルファベット(グーグル)、フェイスブック、ジョンソン&ジョンソン、バークシャー・ハザウェイ、アリババグループ、エクソンモービルなどですが、さらにファイザー、ネスレ、マクドナルド、コカ・コーラ、ソフトバンク、トヨタ自動車なども上位に入ってきます。もし将来、インフレにより利得がこれらの企業に発生したとしても、株主となっていればある程度の利益の回収はできるわけです。

アクティブ運用のうちそのパフォーマンスが市場指数を下回っているファンドの比率を見ると、グローバル株式ファンドでは1年、3年、5年、10年、どの期間で見ても7割から9割ぐらいのアクティブファンドが、市場全体のパフォーマンスに負けているのです。

その一つの理由として、投資信託に関連するコストの問題があります。管理手数料、信託報酬が大きな比重となっているのです。例えば毎年5%のリターンがあるファンドを40年保有したとしましょう。コストがゼロなら当初100の資産は704になっていることとなります。申込手数料2%、管理手数料1.5%とするなら40年後の残高は377にしかありません。さらに、アクティブですから売買を行う時の委託売買手数料も掛かるので、もっと下回ることが考えられます。一方、申込手数料



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

がなく、管理手数料が0.5%のインデックス・ファンドであれば残高は576です。これだけ大きな違いが生まれるのです。

なぜ意識の拡大で資産運用がうまくいくのかと言え、要するに空間軸を広げることは分散投資ということですし、時間軸を広げることは長期積立投資だからです。意識の拡大で無理なく分散投資と長期積立投資ができるというわけです。意識が拡大していればマーケットの変動に惑わされない。相場観もいりません。銘柄選択能力も不要です。経済予測も、投資理論の難しい話もなしです。だからこそ相場に惑わされないのです。手間も暇もかからないから長く続けられるのです。そして、続けてこそ、初めて効果が出るのです。

人生を通じての資産運用というのは要するに歯磨きのようなものです。別にエキサイティングでも、楽しいわけでもない、難しいわけでもない。でも、毎日続けていないと将来年を取った時に困ることになります。

### <「遊びの時代」のお金との付き合い方>

少し駆け足になりますが、最後の「遊びの時代」のお金との付き合い方を紹介しておきます。まず、どのように資金を取り崩していくかという問題です。私は、とにかく就業中は全世界の株式インデックス・ファンドをずっと積立投資をしていけばいいと考えています。そして、退職した時にもらった退職金は全額債券ファンドにする。それによって株式ファンドのリスクを中和することができます。

退職後、毎年、どのように資産を取り崩すのが良いのか。私の答えは簡単です。毎年、前期末の資産の時価残高を自分の想定する余命年数で割ればいいのです。100歳まで生きるという前提であれば、そして今70歳であれば前期末の資産の時価残高を30で割る。その金額分、株式ファンドを売却して現金化してそれを引き出す。ただこれをずっと続けて命を終えるまで続ければいいのです。

当然、自然に年代とともに株式の比率が少なくなり、リスクが減少していくことになります。株式ファンドを売却し切ったら、債券ファンドを売却する。これをやっていけば予定した寿命の終わりまで絶対に資金が枯渇することはありません。後は毎年、毎年の引き出し資金に年金などを加えて、その金額で自分の幸福感が最大化されるような使い方をしていけばいいのです。

冒頭にお話したようにお金という要素は大切ですが、しあわせの六角形の中の一つの要素です。でも我々は、どうもお金がないと絶対に幸せにはなれないと勝手に思い込んでいる節があります。お金の呪縛から離れるということも、とても大切なのだと思います。



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

最後になります。私は高齢になればなるほど、人生を超えた投資というのも楽しいだろうと考えています。超長期投資です。80歳、90歳になった時こそ100年先のための投資を考えるべきではないかと思えます。

世の中のためになる、まっとうな利益を上げている、質の高い利益を上げ続けている企業であること、そしてそのような利益を長く続けることができるサステナブルな会社であること、そのような企業を自分の志を込めて次の世代、次の、次の世代のために、自分がいなくなった後も自分の投資先企業を通じて自分の志が生かされていくようにする。

これがある意味、私は本当の意味でのアクティブ投資ではないかと思っています。未来を託せる企業に投資をする。配当金を受け取ったら社長にお礼の手紙を書く。投資金額は少なくとも超長期で保有して大きく育ってくればそれでいいのです。そのような投資も老後の一つの楽しみではないかと思えます。投資は投「志」なのです。

大変駆け足でお話をいたしました。これで私の基調講話を終わらせていただきたいと思います。みなさまの資産運用の参考に供したなら幸いです。ご清聴ありがとうございました。



### I-OWA マンスリー・セミナー講演より

## 人生 100 年時代に向けた欧米の個人投資家資産形成

講演： デービッド・セマイヤ氏

レポーター： 赤堀 薫里

#### デービッド・セマイヤ氏プロフィール

日興アセットマネジメント株式会社代表取締役会長などを歴任し、2018年10月1日より三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社取締役会長(共同)。

米国、欧州、アジアの金融サービス業界で30年にわたる経営実績を有する。ロンドンに本拠を置く国際金融グループ バークレイズ社に入社し、傘下のプライベートバンキング事業(英国およびアイルランド)を統括したほか、バークレイズ・アセット・マネジメントの会長を務めた。2009年以前はバークレイズ・グローバル・インベスターズ社(現ブラックロック社)の欧州アジア事業のCEO、2004年までは米メリルリンチ社でニューヨークと東京でアセットマネジメント部門とキャピタルマーケット部門のさまざまな要職を歴任した。欧州最大級の年金基金の理事、英国投資運用業界(IMA: Investment Management Association)の理事、英ウェルス・マネジメント協会(WMA: Wealth Management Association)の理事などを歴任。現在は、米国投資信託協会(ICI: Investment Company Institute)におけるパシフィックポリシーカウンスル(PPC)のメンバーでもある。フロリダ大学卒、テンプル大学にて教育学修士号取得。Stanford-NUS インターナショナルマネジメントプログラム修了。米英両国籍を有し、日本語も堪能

身体の健康管理と同様にマネーも健康管理が大切です。7つのポイントをお話します。

1つ目は、まもなく人生100年時代が到来すると日本で話題になっています。日本の60歳の女性が90歳になる確率は過半数を超えています。セカンドライフにはお金がかかるので、その準備がものすごく大切。ハッピーセカンドライフを送るには、時間が大切です。お金の健康管理には、時間が味方になれば敵にもなることを是非覚えてもらいたいと思います。



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

2番目が「キャッシュ・イズ・キング(現金は王様)」の時代が少しずつ変わってきているということです。日本の場合、デフレ時代が20年近くありますが、デフレの状態では普通預金が0.001%でもプラスです。インフレがマイナスということで、適切な考え方だと思います。ただ、アベノミクスの頃から0.5~0.8%のわずかなインフレになっています。みなさんが感じていることは、自動販売機で、3年前は100円未満で買えた飲み物が、今は110円か120円。少しずつインフレになっています。これは定期預金の価値が下がっていることになります。つまり、第2のポイントは、お金は貯めるだけでなく働いてもらうという考えです。これは実際に40年間、自分で経験してきた正しい考え方だと思います。



3番目は、複利の力を利用すること。複利はどちらかというと預金という言葉ですね。投資であまり複利という言葉を使いません。英語では再投資の効果と使います。再投資の力。つまり分配金です。多くの日本の投資家は分配金をもらうために投資をしています。50~70代になってくればわかりますが、なぜ働いている時に分配金が必要なのかということがポイントです。分配金をもらわずに再投資することを考えてもらいたい。私は16歳のとき、1979年から米国で1000ドル投資を始めましたが、再投資し続けて今70倍になっています。

3番目のポイントとして、長期保有。あるいは中長期投資が大切です。ずっと資金を回し続けることが大切。

4番目は、プランを作ることが大切です。プランを作ってから時間が経ち、マーケットのブレが出る時、迷わないようにすることがすごく難しい。投資プランを自分で作り、家族と共有することが大切です。ただし、全部自分でやろうとするとプロでも失敗します。必ずアドバイザーを探して相談することが大切だと思います。

5番目のポイントは、預金から投資へということで、資産分散投資をぜひ考えてもらいたい。分散投資とは、株式、債券、金。もっとも大きな問題が「ホーム・カントリー・バイアス」です。自分の国のものしか考えない。日本株しか考えていなかったなら20年の損です。国際化、グローバルを考えて、国内に資産が偏る必要は全く無いと思います。むしろグローバル分散投資が効果的です。リタイアメント、定年までの時間が大切です。特に、リタイアメントをする前の5年間は大切な時期です。そしてリタイアした後の5年間もまた非常に大切な時期です。マーケットのアップダウンが非常に激しい時。こういう時にどうするのがポイントになります。



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

6 番目はボラティリティ(価格変動)。運用効果のアップダウンのボラティリティは当然あるものだと考えて怖がらないことが重要です。たまには価格変動が長く続くことがあります。そういうアップダウンが嫌いな人は、時間分散投資が非常に効果的です。

7 番目は、プランを触らないで相場の変動がプラン実行の邪魔をしないこと。一番、陥りやすい間違いが安い時に買って、高い時に売るという発想ですが、売る時、買い時を予測することはプロでも難しい。プランを作ったら途中で止めないでマーケットにそのまま参加し続けることがすごく大切。

おまけの 8 番目のポイントは、借金の管理が大切だということです。

講演の後半では、16 歳から始めた投資の経験談から、投資をする上での 7 つのポイントに対して、事例を交えたわかりやすい解説をしてくださいました。また米国の IRA や英国の ISA 等、と日本の NISA や iDeCo との違いや、米国、欧州、日本のリスクに関する考え方や、経営の違いについて興味深いお話をしてくださいました。



### I-OWA マンスリー・セミナー座談会より フリー・ディスカッション

岡本 | 米国の CFA 協会のカンファレンスに参加すると、独立系のアドバイザーの人達がたくさん参加しています。一方で日本の場合、金融機関の営業マンが、みんなアドバイザーみたいな感じです。ただ、本当のアドバイザーかどうかはわからない。商品の説明はできるけど、全体を知らないのとータルなアドバイスはできない。

IFA という人達があります。確かに、独立系で金融機関に所属はしていませんが、商品を販売して、コミッションの一部をもらいます。全然なんのしがらみもないアドバイザーはすごく少ないわけです。一つは、日本人がサービスに対してお金を払う習慣がないから。大体サービスは無料だと思っています。それが浸透しない理由の一つでしょう。米国や欧州のアドバイザーという人達は、本当に独立系の人が多いのですか？それとも商品を販売して、収入を得ている人もかなりいるのですか？

セマイヤ | 両方います。英国の場合は、この問題が昔からあり、RDR (Retail Distribution Review) という制度があります。英国と日本との違いは、投信販売の手数料に対するキックバックが禁止になっていることです。なぜかという、大手の銀行は、販売手数料等があり、利害関係がはっきりしない。最終的に顧客が損をする可能性があるということで、全部の英国の大手銀行が、個人のお客様に対して投信販売を禁止しました。しかし、ウェルス・マネジメントはやっていません。資産が 5,000 万円以上の方とか、3,000 万円以上の方というように、銀行によって異なります。販売手数料は一切チャージしていませんが、アドバイス料がチャージされます。



岡本 | 例えばバークレイズのウェルス・マネジメントといった場合は、一任勘定でやるわけですよ。その時商品は、バークレイズの商品が多いのですか？



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

セマイヤ | 一任勘定であれば、当時は、例えばグローバル・バランス運用、あるいは英国株それらを運用するファンドマネージャ達を紹介して、対面で話し合ってもらったうえで契約をします。英国国内の投資はファンドではなく個別銘柄。海外になるとファンドよりETF。それはお客さん次第です。アクティブ運用にしたいのかパッシブ運用にしたいのか、それもお客さん次第です。

岡本 | それをきちんと教えてどちらにした方が良いのか説明して決めてもらう。

セマイヤ | そうです。

岡本 | 日本の個人投資家の大きな問題の一つは、いろいろな種類のアドバイザーがたくさんいるせいか、彼らがみな同じだと思ってしまうところでしょう。そこをきちんと理解していくことが重要だと思います。

参加者 | 英国のISAを利用している人はどれくらいいるのか。日本だとイデコ(iDeCo)やNISAにしても利用している人はごくごく一部なのであまり広がっていません。

セマイヤ | 1500万口座です。英国の人口が6000万人ですから1/4です。非常に多いですよ。一般的ですし。

参加者 | 現役層で考えたら半分くらいですかね。

参加者 | 日本はどうですか？

参加者 | 日本のiDeCoは120万になりました。つみたてNISAも120万人くらい。桁が全然違います。

セマイヤ | 英国の場合、2000年の時に300万口座数でした。18年で5倍になったわけです。

岡本 | どうしてそんなに増えたのですか？

セマイヤ | 税金が有利なので。日本と違って、ISAの中でいろいろな投資対象が買えます。例えば個別銘柄だけでなく、英国の場合、環境にフォーカスしているので風力発電にも投資できます。ベンチャーでもできます。

参加者 | ISAの口座数が減ってきているのはどうしてですか。



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

セマイヤ | 個人年金ができてから人気が少しずつなくなってきたからです。個人年金制度(NEST)の方が有利です。ISA よりも期間が長いはずですよ。

参加者 | 国は、企業が年金を持たなくては行けないということで、大きな企業から時限的に入れさせているということで広まったと理解しています。

セマイヤ | 企業としては非常に大きな負担です。政府が何を伝えたいのかと言うと、自己責任ということです。今、政府は右寄りのコンサバティブになっていますが、将来自分で貯めて投資をしておかないと、政府は何もしてくれません。そういう意味でやっています。今は右の方ですが、左になるとどうなるかわかりません。

岡本 | 制度はちゃんと作ったのだから、しっかりやらないと大変なことになりますよと言っているわけですね。

セマイヤ | 確かにそのように言っていますが、現実的には若い人やお金がない人は、それはお金がある人やエリート向けだと言い、いつも争っています。

参加者 | 今年の3月に前倒しで退職をして現在60歳です。2年ほど前に岡本先生の講座を伺った時に、すでに始めるにはもう遅いのではないかと思ったのですが、今から始められるところから始めたいと思い講座に参加しました。運用に関する知識はゼロです。2年ほど前から少しずつアンテナを張り始めたところで、全く白紙の状態です。これからどのように勉強を始めたらいいのか。ささやかな退職金も頂いて、銀行からはつみたてNISAをすすめられました。「つみたてNISAってなに？」という世界ですが、まず何からはじめたらいいのか伺いたいです。

岡本 | 「何年も前にお話を聞いて、その時はやりませんでした。もう手遅れでしょうか？」という方は多いです。そういう意味では手遅れです(笑)。でも、何もしないとずっと手遅れになってしまいます。少しでも将来の自分を今の自分が支えようと思うのであれば、始めるべきです。だから少なくとも退職金が入ったのであれば、世界一周クルージングで使ってしまう方がいい(笑)。

セマイヤ | 非常に個人個人の考え方になると思います。以前、勤めていたパークレイズのウェルス・マネジメント部門でのお客さんの話になりますが、60歳、70歳になって、始めるのが遅いのかという話があります。それより残す資産をどう考えているのかということですね。日本の場合、不動産へ上手く投資をすれば有利です。これは日本独特のやり方。英国、米国は不動産ではなく信託にした方が有利になります。日本にも信託はありますが、不動産の相続税対策ですね。みなさんどのように考えているのか。あと30年、たっぷり



## 長期投資仲間通信「インベストラيف」

遊んで楽しくしたいのか。貯金、年金も全部使ってしまうのか。子ども達、孫達、お友達、親戚、寄付と、これは個人個人、プライベートな話になります。

プランが非常に大切だと思います。そういうことも入れて、それをベースにして資産運用を考える。流動資産、固定資産、そういうものをトータルで考えなくてはいけない。

参加者 | 「100年—年齢」というお話がありましたが、人生120年時代となった場合、これが「120—年齢」になりますか？

岡本 | 「100—年齢」というのは一つの目処で、全体の金額がどれくらいかが問題です。一応100というのが、大体100歳くらいまでみておけば大丈夫じゃないというのが前提としてあったけど、今少し伸びて心配なら110にしてもいいのです。まあ、資産額次第でしょうね。

参加者 | 遺言をサポートするサービスをしていますが、今までより寿命が延びていることを実感しています。どうやって取り崩すのかということ。あまりに金融リテラシーが低いので定年後にどうしていいのかわからないと言う人達が、その辺にゴロゴロいます。もう少し金融リテラシーを高めるためにどうしたらいいでしょう。

セマイヤ | 生活費がいくらかかるのかを考えて、年金でいくらカバーできるのか考える。そこで足りない分をどうするのか考える。まず年金が継続的に出るとしたらそれがポイントだと思います。

岡本 | 配分比率の問題といっても、マーケットそのものが動いているからぴったり目標とする配分に維持できるというわけではありません。大体の目処として、「100—年齢」というのはわりと直感的にわかるし、それは悪い指標ではないなと思っています。ただそれにぴったり合わせていこうと思わずに、もっと気楽に考えてみてください。株式から現金化していけば自然に全体のリスクは減っていきます。もちろん、今、株式と債券がそれくらいあるのかということが前提にありますが、一般的にそういう引き出し方があるのかなと思います。今日もありがとうございました。



### I-OWA マンスリー・セミナー講演より お金の過去・現在・未来（1）

講演：岡本 和久

レポーター：赤堀 薫里

お金について過去に起こったこと、現在の状態、そして、それが未来にどうつながっていくのか、大きな流れをこの三回のシリーズで皆さんに掴んでもらいたいと思います。お金とは「感謝のしるし」です。自分の欲しいものや必要なものを得ることができて、「ありがたい」と思うから、自分が持っている大事なお金を相手に渡してあげます。働くことも人から感謝されることによって、自分の中に感謝が貯まっていく。貯まっていった感謝が信用になります。これは企業も国も全く同じことが言えます。

日本における貨幣の歴史についてお話しします。日本では長い間、日本最古の貨幣は、708年に発行された和同開珎だと言われてきましたが、奈良の飛鳥池遺跡から富本銭が出てきました。さらに、天武天皇が即位し、富本銭を発行した683年に「今より以降、必ず銅銭を用い、銀銭を用いることなかれ」と日本書紀に書かれています。この銅銭とは富本銭のことで、銀銭がその前にあったわけです。それが無文銀銭です。668年頃には無文銀銭が流通していたのではないかとされています。富本銭を発行したのは、藤原京建設費用の調達だと言われています。



708年、和銅元年、今まで日本では銅が出ないといわれていたのに、武蔵野国秩父で銅が出たというニュースが入ります。これはとてもめでたいことで、年号も和銅と切り替えたわけです。しかし、実はそのような事実はなく、政府のプロパガンダでした。この年708年に和同開珎の銀銭を発行しています。同時に造幣局のようなものを組織として作りました。その3ヶ月後には、見た目も同じで価値も同じである和同銅銭を発行しています。そして和同銀銭を廃止し、銀銭を回収したのです。このようにいろいろな手段を使って朝廷は銀の価値の裏付けに基づく貨幣を、国家の権威の裏付けに換えていく大変な努力をしていったということです。

710年に平城京の遷都があります。和同開珎は平城京の建設費のために発行されました。この頃から貨幣の制度ができあがっていきます。穀(米)と銭の交換比率を公表しています。次に銭の流



## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

通を図ることを目的に、銭をたくさん貯めた人に位をあげる蓄銭叙位令。勝手に銭を造ってはいけないという私鑄禁止令。官僚の給与の一部や、当時の税金だった庸・調を銭で払うことを認めます。このような矢継ぎ早の政策が実施されました。

生活の中に銭が浸透していきました。和同開珎は50年にわたり長い間使われました。708年和同開珎が発行されて以降、皇朝十二銭という銭が12回、次から次へと発行されていきます。富本銭は藤原京。和同開珎は平城京。そのあと平安京ができて、公共投資等のために必要なお金を発行していきました。和同開珎の次に発行されたのが萬年通宝というお金です。銅の量は和同開珎の1/10ですが、同じ価値での流通をはかり、税金で和同開珎が戻ってくると、萬年通宝を出して、少ない銅の量でより多くのお金を生み出していきました。12回の発行分、毎回、銅の量を1/10にしていきました。

一番大きな問題は、この改鑄が民衆の利便性ではなく政府都合の発行であったということです。しかし、これを続けていると銭の信任は低下し、銭と共に米や絹や麻が貨幣の代わりに使われるようになりました。貨幣の発行を繰り返したため、貨幣の価値の支えである国家の信用が薄まってしまい、モノの価値に回帰することになったのです。

結局、お金はモノの価値に対する信頼によって始まっていますが、モノの価値以上の額面のお金を発行して、それを貨幣として使おうとするには、一般的には政府の権威が必要です。権威は信用がないと権威にはなりません。最初はいろいろな人が発行していたお金が、朝廷に統一されて、それが信長や秀吉の時代から武家政府に移っていきました。

講演では、お金が誕生するまでの過程や、物品貨幣の性格を持つ西洋のお金(金・銀)と名目貨幣の性格を持つ東洋のお金(銅)について。また日本は東洋としては例外的に物品貨幣(銀)であったことの解説。戦費調達のため、紙幣に切り替えた南宋や金、モンゴルから余った銅銭が日本に流入してきたこと。日本に紙幣に近い存在である割符(さいふ)の登場。16世紀から世界的シルバーラッシュが起こり、世界のグローバル化が進んだことの説明。さまざまなお金に関するお話がありました。最後に、金・銀・銭と3貨体制が始まり江戸幕府へつながる信長、秀吉の通貨政策の解説をしてくださいました。第二回は江戸時代から明治の初期までのお話だそうです。



## 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945年生まれ。1968年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004年に退職。Facebook上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



### グーグル(Google)の由来

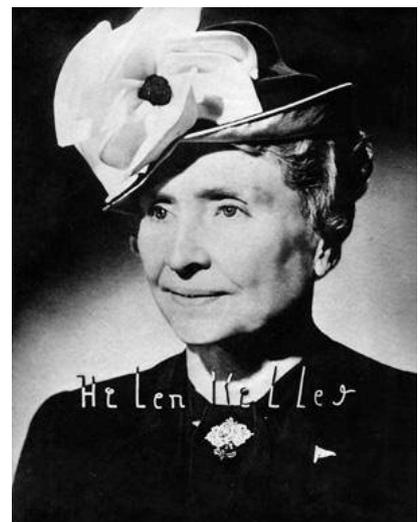
グーグルの社名は10の100乗を意味するgoogol(グーゴル)に由来している。World Wide Web上の膨大な情報の組織化が会社の使命を意図しているとの考え方だ。

「Googol」ではなく「Google」になったのは、1997年に創業者のラリー・ページたちが新しい検索エンジンの名前を考えてドメイン名として登録した際、本来は「[googol.com](http://googol.com)」とすべきところを「[google.com](http://google.com)」と綴りまちがえたのがその起源と言われている。

### ヘレン・ケラーと塙保己一

三重苦の障害を克服し、「奇跡の人」と称されるヘレン・ケラー。彼女は重度の障害を持ちながらも世界の障害者教育や平和活動に貢献した偉人として知られている。そのヘレン・ケラーは昭和12年、23年、30年と3回も来日している。

その最初に来日した昭和12年4月に講演した時、彼女は次のように語っている。「私が幼い時のことです。母は私に『塙保己一先生はあなたの人生の目標になる方ですよ』とよく話してくれました。日本には幼くして目がまったく見えなくなってしまったのに、





## 長期投資仲間通信「インベストライフ」

努力して立派な学者になった塙先生という方がいたと教えられました。それを聞いて、私は励まされて一所懸命勉強しました(塚正一著「塙保己一とともに」)。そして保己一の生地である埼玉県を訪れた時には「私は日本に行ったら必ず埼玉を訪問したいと長い間思っていました。その夢が今日かないました。私が人生の目標とし、苦しく、辛く、くじけそうになった時に心の支えとした人が、この埼玉ゆかりの人物、塙保己一先生です」と語っている。

塙保己一は、江戸中期に現在の埼玉県本庄市に生まれた国学者。7歳で病気のため失明したものの、学問への思い捨てがたく15歳で江戸に出る。苦労を重ねながらも多くの先人から教えを受けた。そして国学の大家・賀茂真淵にも師事する機会を得たのである(真淵晩年のわずか半年だけではあったが)。保己一は目が見えないので書物を読んでもらい、それを記憶していったのである。

そして「神皇正統記」などの貴重な古書の散逸を危惧し、これらを収集、編纂して残すことを決意する。40年の歳月をかけ、74歳の時に666冊にわたる一大叢書「群書類従」の編纂を完成させるという途方もない大事業を成し遂げるのである。塙保己一は戦前の修身の教科書には必ず取り上げられていた人物だが、現在の義務教育では教えられていないようだ。教育現場で是非とも取り上げ、ヘレン・ケラーが私淑していた人物としても再評価すべきだと思う。

### なぜ日本に「山田耕柞記念館」がないのか

山田耕柞といえば、誰もが知っている「赤とんぼ」「この道」「からたちの花」「待ちぼうけ」など、童謡、唱歌の作曲家であり、また、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団やレニングラード・フィルハーモニー交響楽団等を指揮するなど、国際的にも活動、世界的に名を知られた最初の日本人音楽家でもある。しかし、彼の記念館はどこにもない。

瀧廉太郎、中山晋平、北原白秋、サトウハチローなどの記念館は彼らのゆかりの地などにある。記念館がないのは山田が「燃ゆる大空」など多くの軍歌を作曲したためだろうか。しかし、古関祐而は山田以上の軍歌作曲者だが、「古関祐而記念館」は福島市にある(古関は福島市名誉市民第1号でもある)。実は戦後、音楽評論家・山根銀二との間に山田の戦時中の行動に対し「戦犯論争」が勃発し、その後も山田を戦犯扱いする人物が出てきたためだと思われる。

山田は確かに戦意高揚に協力した面はあったかもしれないが、見方を変えれば祖国を思う国民としてのことであり、それほど強く批判されることではないと思う。山田の出身地である都内(文京区)に彼の記念館を設立することを東京都に検討していただきたいものである。



### 急がば回れ(の語源)

「急がば回れ」ということわざ、実は室町時代の連歌師・宗長が詠んだ「武士(もののふ)の矢橋の舟は早くとも 急がば廻れ 瀬田の長橋」という歌に由来している。「矢橋の舟」は矢橋の渡しを意味する。矢橋の渡しとは、東海道五十三次草津宿～大津宿を結んだ湖上運送であり、「瀬田の長橋」は「瀬田の唐橋」のことだ。



当時、京都に行くには矢橋から琵琶湖を横断する海路の方が瀬田の唐橋経由の陸路より近くて速いのだが、(瀬田まで南下すれば)比叡山から吹き下ろされる風による影響を受けずに唐橋を渡ることができることから、こうした歌が詠まれたのである。

### 「亡命」はどうしてこんな字なのか？

「命」を「亡くす」と書いて「亡命」。亡命は政治上の理由で本国を抜け出し他国に逃亡するという意味だが、どうしてこんな字を書くのだろうか？

この場合の「亡」は困いを隠すさまを示す文字であり、「あったものが姿を消す」という意味。また「命」は生命ではなく「戸籍」を意味する。戸籍から抜け、姿を消すから「亡命」である。



### 資産運用こぼれ話 本当に良いアドバイザーの選び方

寄稿： 岡本 和久



将来が不安、預金をしてもちっともお金が増えない、しかし、株式投資をするのも怖い。多くの方が不安を抱えています。しかも、ほとんどの方はお金や投資のことなど学んだこともなくどうしていいのかわからない。フリーズ状態です。

2017年に米国のインベター・プロテクション・トラストという投資教育の組織を訪問しました。そこで強い印象を受けたのがアドバイザーを選ぶことの重要性です。投資の難しい理論や実践を学ぶ前にまず良いアドバイザーを選ぶことが必要であるということが強調されていました。

日本の場合、投資経験のまったくない人が投資に関するアドバイスを欲しいとしたらどうするでしょうか。普通、銀行や証券会社、保険会社などの営業マンに相談するということでしょうか。しかし、これは二つの点で大きな問題を抱えています。第一に彼らは相談者の資産の全体像もライフプランを知らない。そして第二に彼らの仕事は自社の投資商品を売ることにあります。その結果、営業マンは自社が重点営業をしている「もうかる」商品を勧めることとなります。その結果、相談をした人には「何か違うんだよね」という印象が残ってしまうことが多いのです。

中には金融機関に所属しないで「独立して」やっているアドバイザーと称する人もいます。インデペンデント・ファイナンシャル・アドバイザーを略してIFAなどと称しています。しかし、非常に多くのIFAが投資商品を販売することで金融機関からコミッションをもらっているのです。いわば金融機関の外部に存在する「歩合」営業マンです。結果として自分がコミッションをもらえる商品を売ろうとすることになります。

それでは本当に商品販売から独立した信頼できるアドバイザーを見つけるにはどうしたらよいのでしょうか。以下が最低限のチェックポイントです。①その個人が十分に信頼できる知識と経験、実績を持っていること、②そのアドバイザーが純粋なアドバイス業務のみで収入を得ていること。

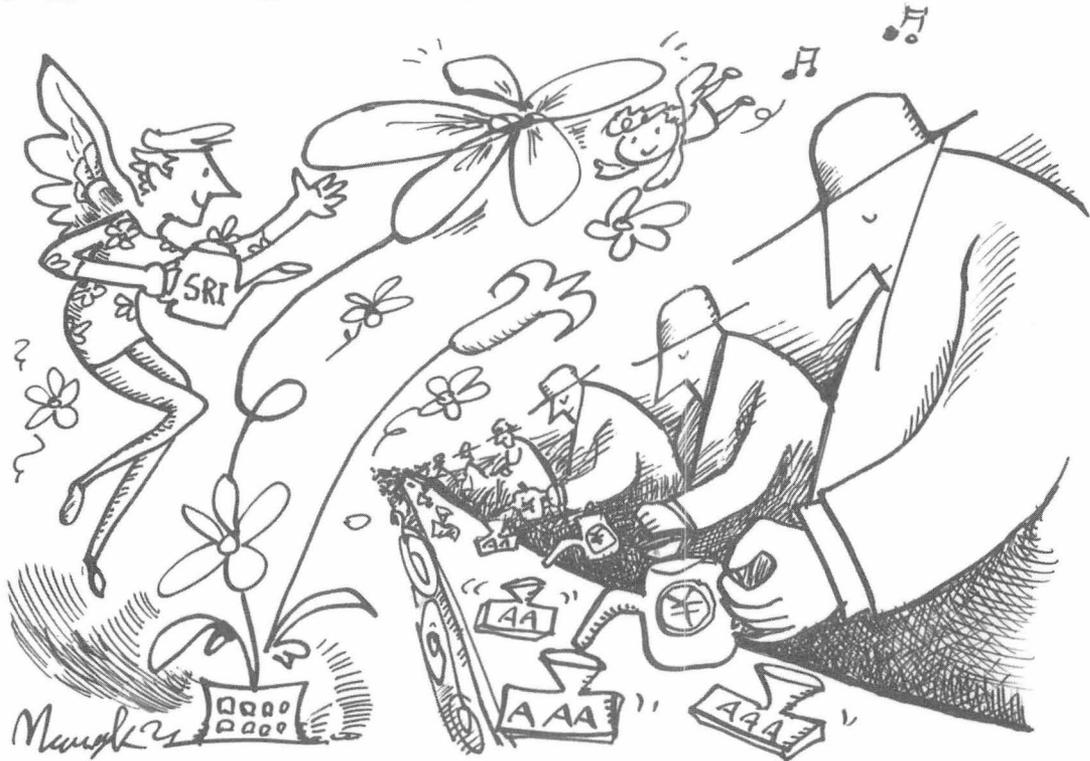


## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

そして③「顧客ファースト・自分ラスト」を表明するフィデューシャリー・デューティー宣言を個人として公表していること。相談者のライフプランに基づき資産全体を考慮して長期的な視点にたつてアドバイスをくれる人がよいアドバイザーなのです。

そして、もう一つ、大切なことは本当に質の高いアドバイスは有料であることを生活者も理解することです。アドバイスはお菓子のおまけではありません。アドバイスに正当な対価を支払う習慣が生活者に少ないからアドバイスだけでは生活が成り立たず、投資商品販売に依存するアドバイザーも多いのです。そのためにも本当に質の高いアドバイスができる人材の育成が必要であり、またそのような人が、しかるべき相談料を得てそれで生活ができるようにすることが必要なのです。

# 自分も社会も豊かになる



## 利益と社会性は両立可能か？



伊藤宏一編集主幹  
(ファイナンシャルプランナー)

伊藤：このところ数年、社会責任投資（SRI）や企業の社会的責任（CSR、※注1）という言葉をよく耳にすることがなっています。

あえて極端な言い方をすると、従来は投資でも企業の活動でも、「利益を出すためにはどんなことでも許される」といったところがあったわけ

です。

ところが現在は、「利益を追求するといっても、社会や自然環境へ与える影響を考慮した上でなければならぬ」という風に、考え方が変わってきている

ということですね。

現在、科学技術が発達して、人間はさまざまな物を大量に生産して、豊かで快適な生活を営むことができるようになってきました。また旧来の道徳的なしがらみや慣習からも解放されて、より個人の意志や欲求を自由に充足して生きることができるようになっています。

しかし反面、大気や海洋の汚染、地球温暖化といった問題が起きているように、工業生産が増えた分だけ自然環境への負担が増大しているのも確かです。

また、自由に自分の価値観を追求できるようになった分、自分の行動が他人や社会に対してどのような影響を与えるかについて、その責任をより意識することが必要になっています。

個と社会との相互の関連性が、一層高まっているんですね。

ですから旧来のモラルが機能しなくなっている今、個人にとっても企業にとっても、社会責任投資（SRI）

# 投資って何だろう？

## —— 社会責任投資 (SRI) を考える

収益と、倫理や環境意識は両立するものだろうか？

多くの投資家が悩むテーマである。

そこで、既存の価値基準で投資対象をより分けるよりも、投資を通じて社会や企業行動を、自分の理想に近づけようという発想に変えてみてはどうだろう。

そこから投資家と経済の新たな関係が始まるのではないか？

秋山をね、河口真理子、速水禎、伊藤宏一、澤上篤人、岡本和久

や企業の社会的責任 (CSR) は、これからの経済社会を生きていくための大切な行動規範、新たなモデルだということができるのではないかと思います。

岡本：ただし反面、SRIやCSRには、一種のジレンマが内包されていることも事実ですね。

当然ながら、投資家は利益を求めて投資を行うわけですし、企業も収益を求めて企業活動をおこなっています。そこには、「社会的責任と利益が両立するか？」という問題が、いつでもついて回ります。

たとえば投資信託の運用会社や投資顧問会社が、パフォーマンスが下がっている時に顧客から、「どう

してこの銘柄をポートフォリオ (投資資産) に組み入れているのだ？」と聞かれたとします。

そんな時に、「この会社は慈善事業やボランティア活動に、お金や人材をたくさん提供しているからです」と答えたら、どんな反応が返ってくるでしょう？ 「もう、お前のところはいいよ。ほかの会社に替えるから」と言



岡本和久  
(投資顧問会社経営)

(※注1) 社会責任投資 (SRI) と企業の社会的責任 (CSR) : 社会責任投資 (SRI : Socially Responsible Investing) とは、社会の持続的な発展のために、単に企業の財務的な側面だけでなく、環境問題への取り組みや、社会性も考慮して行う投資。

1900年代初期に、アメリカのキリスト教会がアルコールやギャンブルに関係した企業の株式を排除して投資したことが起源といわれている。

一方、企業の社会的責任 (CSR : Corporate Social Responsibility) は社会の持続的な発展のために、財務上のパフォーマンスだけでなく「地球環境」「社会」「経済」など、企業を取り巻く外部環境全体に対して求められている企業責任。

投資家が社会責任投資を行う上でも重要な指標となる。



秋山をねさん

社会責任投資普及のための調査会社を経営（株式会社インテグレックス代表取締役）。

1983年に慶應義塾大学経済学部を卒業後、リーマン・ブラザーズなどの米系証券会社で米国債のトレーダーを務めた後、証券会社数社を経て現職。米国公認会計士。

著書に『社会責任投資とは何か いい会社を長く応援するために』（生産性出版刊）などがある

われかねませんね（笑）。

これは個人投資家でも同じだと思います。自然環境に配慮することは大切だとわかっていても、運用収益に老後の生活がかかっているとすれば、やはり、まず、儲けることを考えなければならないでしょう。

**伊藤**：社会への貢献か、利益かという、非常に悩ましい問題がついて回ることですね。

では果たしてこの二者は背反するものなのか？あるいは整合性をつけて、両立することは可能なのか？

今回はこの問題について、SRIやCSRの分野で活躍されている、秋山をねさんと河口真理子さんをお招きして考えてみたいと思います。

## いかがわしい人物や企業は 脱落していく

**伊藤**：まずここで、秋山さんと河口さんから、SRIやCSRの分野に関わられるようになった経緯についてお話して頂けたならと思います。

**秋山**：そうですね、私が学校を出てから初めて就職したのは、アメリカの証券会社で、そこで数年間、米国債券のトレーディングを担当しました。

そこはまさしくマーケットで売ったり買ったりの世界で、安く買って高く売れば、それがそのまま自分の評価になります。ですから稼げば稼ぐだけ評価されるという意味では、性別や国籍に関係ない、非常に公平な場所でもあったわけです。

ただし反面、「結果だけを見て、そのプロセスを見ないで評価するのは、非常に危険ではないか」とい

うことも、このウォールストリートの生活で感じました。

というのも、トレーダーというのはすべてが善人の集まりというわけではなく、どちらかという他人を蹴落としてでも自分は這い上がりた<sup>は</sup>い、という人間が少なくないからですね。

実際、利益を上げるために嘘をつくとか、ルール違反をするとか、同僚の足を引っ張るといった行動を、結構、目にすることが多かったわけです。

こうしたことに違和感も感じつつ、その後、何社かの金融機関で働いていたんですが、ある時、かつての同僚たちが現在どうなっているかということ考えた時、ひとつのことに気づいたんです。

それは以前、ずるいことをしたり、よろしくない行為をしていた人たちというのは、職場からいなくなってしまうていたということです。それも、お金を稼いで裕福にリタイアというよりも、どこかでつまづいて脱落してしまっていたんですね。

そして、あまり目立たなくても真面目にコツコツと仕事をしていた人たちは、きちんと第一線に残って仕事を続けているんです。

この事実を見るにつけ、投資の際に企業を評価する場合も、目先の利益だけでなく、普段からその企業がどんな理念を掲げ、実践しているかを見ることが非常に重要ではないかと考えるようになったんです。長期で見た場合、個人の場合と同様に、その企業の倫理観や社会への責任意識が、企業業績に反映されるのは当然のことではないかということです。

以上のようなことから、企業の社会責任に関心を持つようになり、CSRに携わるようになったんです。

**岡本**：河口さんの場合は、いかがでしょうか？

**河口**：私の場合は、大学の学部を出てから大学院で経済学を研究していたんですが、そこで、ある疑問にぶつかったことが、SRIやCSRに関心を抱くきっかけになっていると思います。

というのは、経済学の世界ではいろいろな理論があって、世の中で起きている経済現象を説明しようとするわけですが、どうも納得のいかない部分があったんですね。

経済学の世界では「見えないもの、数値化できないものは考えないことにしましょう」という前提があって、その上でいろいろな分析を行い、モデルや理論が組み立てられています。

財があって、それを売ったり買ったりする際、市場での価格こそが、常に最適な解だというんですね。

ところが、市場ではかならずしも勘案されない、商品の価値やコストというのは存在するわけです。その最たるものが公害ですね。いくら安くて良い商品だといっても、生産の過程や、廃品として処理する際に有害な物質を排出するのでは、環境全体や社会全体で見た場合、かなり高いコストにつくことになります。

そんなことから、現在の環境問題というのも、これは目に見えないコストを意識しなかった「経済学の失敗」ではないかと考えるようになったわけです。

そこで、その目に見えないコストをどう顕在化したり、数値化してあつかえるようにするかということで、環境税、いわゆる炭素税や二酸化炭素の排出権取引といったことについて、考えていたんですね。

とはいえ、当時の日本ではこの分野に指導教官すらいないような状況で、どうも埒が明かず、「いっそのこと現場で勉強してみよう」ということで、証券会社に就職しました。

そこでアナリストとしてレポートを書いたり、外国人投資家向けの翻訳といった業務をしているうちに、エコファンドなど、金融界でもSRIやCSRを意識した商品が出るようになり、この分野で調査や営業を行う仕事に携わるようになったわけです。

## でき合いの基準に縛られるのではなく 自由の中で自分の価値観を追求する



速水禎編集委員  
(ファンドマネジャー)

速水：ここでひとつ、最近私がSRIで目から鱗が落ちたというか、大げさに思われるかもしれませんが、一種の悟りのようなものを得たことをお話させて頂けたならと思います(笑)。

SRIというと、必ず「ネガティブ・スクリーニング」という言葉が出てきますが、これは「たばこ産業には投資しない」「原子力産業には投資しない」といったような、社会責任投資をする上での基準、文字通りの「ふるい」ですね。そして私も、まずこのふるいにかけて線引きをし、投資に

シンクタンク研究員(大和総研)。1986年に一橋大学大学院修士課程(公共経済学、環境経済学専攻)を修了後、証券会社に入社。外国株式部、投資情報部を経て、1994年より現職。

研究テーマは環境経営、環境会計、社会的責任投資、企業の社会的責任など。

著書に『SRI 社会的責任投資入門』(共著・日本経済新聞社刊)がある。



河口真理子さん

不適格な企業をよりわけることが社会責任投資であると思っていたんです。

ところがどうも、これは非常に恐ろしい間違いではないかということに気づいたんです。というのは、線引きをして企業を評価するということは、投資チャンスをとっても狭めてしまうからなんですね。

たとえば、不祥事を起こした企業があるとします。一般的に言われているSRIの基準では、不祥事を起こしたというだけで、もうその企業は投資対象から外されてしまいます。

でも、一言で不祥事といっても、どんな経緯で発生したのか、またそれに対してどんな対応策を講じたかによって、評価は実にさまざまだと思うんです。

もちろん、全体の綱紀が乱れていた、ということなら問題です。しかし、もし本当に一部の社員による偶発的なミスだったなら、その銘柄が売られているのだから、絶好の買い場なのかもしれません。

あるいは失敗を機に改善を徹底して行なったのなら、将来の企業価値の高まりが期待できるということで、これも絶好の買いだという考え方もできます。

SRIというと、とかく「どこかの偉い人が作った基準があって、投資に足かせがはめられる。それでどうやってパフォーマンスが出るというんだ」みたいなイメージがあります。でもどうやらそうではないんですね。

逆に企業価値の考え方というのは実に自由で、その解き放たれた価値観で、自分なりの社会責任、社会への貢献といったことを考えて投資するのがSRIなのだということを、ようやく最近になって理解できるようになりました。

秋山：企業の価値観と自分の価値観が一致したり、共鳴するところで投資をするのがSRIだということですね。

速水：そうですね。そして、いざ、自分を解き放って完全に自由になれるとなると、人間にとってこれほど怖いことはなくて、「では自分は何を大切に生きていけばよいのか」ということを、それぞれ切実に考えなければならなくなります。ここからが一種、修行のはじまりなのかな、と感じています(笑)。

澤上：速水さん、一皮むけて、良かったですね(笑)。

SRIと言おうと言うまいと、結局、投資している銘柄の中に、その人の価値観というものは現れているということなんですよ。

岡本：ポートフォリオの中に、人格が現れている。

澤上：そうです。ガツガツと「儲かれば何でもいい」というなら、そういう投資運用内容になるし、「経済のより良い方向での発展に参加していきたいな」というなら、また全然別の投資内容になるということです。



澤上篤人編集委員  
(ファンド マネジャー)

それで、その投資の価値観には完成形といったものはなくて、絶えざる模索であり、磨き込みなんです。投資というのは最初から最後までこれだけです。

実際、海外とかの「いい投資家だな」と思える人は、SRIを自然にやっています。それで結構、パフォーマンスもすごい。

長期でみると、SRI的な投資が利益を上げるのは当然のことです。さっき秋山さんがおっしゃったことと同じで、無理をしているところは、時間の流れのどこかで転げ落ちてしまうからです。

要するに、経済も社会も、われわれの生活が集まってできている。その経済や社会に受け入れられるには、長い時間軸で見た価値や普遍性を備えていなければなりません。結局、企業という生命体の寿命も、その価値観によって決まってくると思うんです。

それを、どこかほかから持ってきた基準や数字を使って計ろうとすると、訳がわからなくなって見誤ってしまうんですね。河口さんのおっしゃるように、経済を目で見えるものだけで割り切ろうというのが、そもそもの盲点だということです。

## 自分のお金の「使われ方」に関心を向ける

伊藤：現在、一般の個人の間でも、結構環境や社会に対する意識が高まっています。それで、利子が難民救援活動などに寄付される郵便局の国際ボランティア貯金にも、お金がたくさん集まったりしています。

ただしむずかしいのは、まだなかなか実際の投資と社会意識、環境意識を結びつけて、考えたり行動したりということができていないことです。

社会のことを考え、国際ボランティア貯金にお金を預けるという思いは大変良いことだと思うんです。でもその預けたお金(元本部分)が何に使われているかを意識しているかというところ、そこが一種のブラックボックスのままなんです。

依然として、あまり必要性のない橋や道路を作ることに対してお金を預けているとしたら、経済の効率性や環境を考えた時に良いお金の使い方とはいえないわけです。

澤上：普通の生活者の意識は高まっているけれど、金融の世界の側でそれを吸い上げる力がまだまだ弱いんですね。

河口：環境問題にどう対応すればよいだろうか、というところ、官庁などでは「普段の生活ではシャワーの時間を1分ずつ短くしましょう。冷房温度は1度高く設定しましょう。そして証券会社がエコファンド(環境に配慮した経営を行っている企業の株式銘柄を組み入れた投資信託)を売れば落着」といった話になりがちです。そして審議会のようなところでは、「役所が企業の環境格付けをすればいい」といった意見が出てきます。でも、これでは外見だけ、形だけのSRIやCSRなんですよ。

経済のダイナミズムの中に、環境意識や社会意識を放り込むことによって、経済や産業のあり方や質自体を変えていこうという発想が欠けています。

秋山：そもそも、日本の証券会社は値動きのあるところでお客さんに頻りに売買してもらい手数料を得ているから、長期で保有するSRI的な株式銘柄や投資信託は、自分たちのビジネスモデルの否定につながるわけです。

勢い、エコファンドを売り出しても名前だけのものに過ぎず、すぐに消えて、お客さんの思いを裏切

るといことが起きています。

**河口：**これはある意味、そもそも日本における投資の発生にも理由があるのではないかと思います。というのも日本での投資の歴史は、江戸時代の米相場から始まっていますね。これは米価の上下の値ざやを抜くということで、「投資」というよりも、「投機」に近いわけです。「酒田五法（江戸時代に活躍した山形県酒田地方の相場師、本間宗久が編み出した投機技法）」のような一種のテクニカル分析も、昔から非常に盛んです。

ところが欧米の投資は、貿易船を仕立てる時に、「みんなで資本を出し合い、リスクを分散し、長期的に利益を手にしよう」というところから始まっています。ですからリスクを分担しつつビジネスを育てようという姿勢で、日々の値動きよりも、お金の使われ方の中身に着目する視点が強いと思うんです。

**岡本：**ただしこのところ、投資家の意識が日本に比べて成熟しているといわれているアメリカでも、実はある意味で日本と似たようなディレンマが生じてきているように思います。

2、3年前まで「株主価値経営」ということがアメリカを中心に言われました。これは「経営者は企業の所有者である株主の利益を、最大限に高めるように経営をしなければならない、それこそ経営者のあるべき姿だ」ということですね。要は利益を上げ、財務内容を良くし、株価を上げることが企業経営者の役目だということです。

ところが、毎四半期ごとに決算数字を大きくすることに必死になるあまり、将来のための研究開発費や人件費を削減したり、さらには粉飾決算が頻発するといった事が起こるようになってしまいました。

本来、企業を成り立たせているものは、お客さまであり世間でしょう。ならば、世間のためになるような仕事をお客さまのためにすることで、世間とお客さまに潤ってもらい、その結果として株主の価値も高まり、従業員も報酬を得ることができるというのが本筋です。それがいつか逆転して、世間やお客

さまを食い物にしてでも短期的な利益を追求しようというトレンドが発生してしまった。こんなことは長期に続くはずがない。それで現在はその反省期にあるのでしょう。

---

## 「投資」というお金の使い方もある

---

**澤上：**これもあまりにROEやEPS（※注2）といった、投資指標、数字にとらわれた結果ですね。先ほども申し上げたように、投資というのはむずかしく考えすぎると、方向性を見誤るんです。

そうではなく、飲んだり食べたりといった、日々の我々の生活の営みの集まったものが経済なんです。もっと単純に考えた方がいいということです。

**伊藤：**その延長線で考えると、SRIの本来的な姿といったものも、見えてきそうですね。預貯金だと、やはり自分のお金が何に使われて、世の中でどんな役割を果たしているかわかりづらいところがあります。決まった利子は定期的にもらえるけれど、その使われ方についてはもう手が届かないんですね。

ところが率直な目で、自分のお金が世の中でどんな役割を果たすかを考えて投資するなら、お金の使われ方を自分で選ぶことができます。速水さんがおっしゃるように、どんな社会や経済だったらもっと豊かに暮らせるのか、自分の価値観で判断して投資することが、そのままSRIだということですね。

**澤上：**実はお金を使うということは、モノを買ったりする「消費」だけではないんですね。僕らは「投資」という手段で、自分のお金を使うこともできるんです。自分の意志、価値観、夢、そんなものをどんどん、経済の現場に反映させていくことができます。お金を投入して自己表現するのです。

そして経済はこの「消費」と「投資」が両輪となって回っていきます。すなわち、消費者であり投資家として行動していくこと、それがそのままSRIなのではないかということですね。

（※注2）ROEとEPS：ROEは"Return on Equity"で、「株主資本収益率」の略。企業が株主から集めた資本を使って、どれだけ効率的に利益を生み出しているかを見る指標。

一方、EPSは"Earnings Per Shares"で、「1株当たり利益」の略。「当期利益」を「発行済み株式数」で割ったもので、ROEと同様に資本の効率性を見る指標。

こうした投資指標の多くは1970年代のアメリカで開発され、企業価値を計る上で役立つが、反面、会計の方法や経済環境により、基準となる値が変化するので注意も必要。

# <モデルポートフォリオ:2019年6月末の運用状況>

単位：%

		トータルリターン				リスク	1万円ずつ積み立てた場合の 投資額に対する騰落率			
		1か月	1年	5年 (年率)	10年 (年率)	10年 (年率)	1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月 ~ 234万円
4資産型	積極型	3.77	-0.66	6.69	9.09	15.13	0.33	13.24	61.43	88.43
	成長型	2.80	0.76	5.09	6.94	10.58	1.12	9.89	43.57	69.41
	安定型	1.82	1.93	3.35	4.65	6.52	1.78	6.27	27.26	49.85
2資産型	積極型	4.93	3.50	6.97	10.34	16.62	2.83	17.12	68.07	108.58
	成長型	3.66	3.39	5.24	7.81	12.26	2.71	12.00	48.46	83.49
	安定型	2.39	3.01	3.39	5.17	8.50	2.44	6.80	30.72	58.63

\* 投資にかかるコストは控除していない。積み立ては、税引き前分配金再投資。ポートフォリオは毎月リバランスをしたものとする。積み立ては計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2018年6月末に1万円投資資金を積み立て始め、2019年5月末の投資資金までとする(2019年6月末積み立て分は運用期間がないため含めていない)。

出所: イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがMorningstar Directにより作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせは「投信まとなび」のお問い合わせメール( <https://www.matonavi.jp/inquiry> )にてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンまで。

## ポートフォリオの資産配分比率(外貨建て資産は円換算ベース)

4資産型		国内株式: TOPIX	外国株式: MSCI KOKUSAI	国内債券: NOMURA- BPI (総合)	外国債券: FTSE WGBI (除く日本)	
		積極型	40%	40%	10%	10%
		成長型	25%	25%	25%	25%
		安定型	10%	10%	40%	40%
2資産型		世界株式: MSCI ACWI (含む日本)		世界債券: FTSE WGBI (含む日本)		
		積極型	80%	20%		
		成長型	50%	50%		
		安定型	20%	80%		

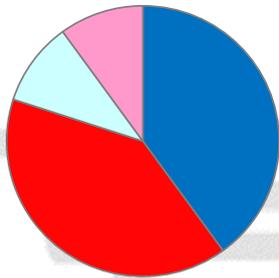
ポートフォリオは「インベストラ이프」が参考のために考案した資産配分に基づき、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出しています。  
特定の資産配分による投資の推奨を行うものではありません。

「長期投資仲間」通信『インベストラ이프』のその他の記事はこちらからご覧ください。  
<http://www.investlife.jp/>

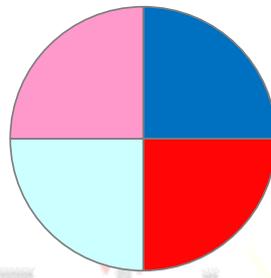
### 4資産型

- 国内株式: TOPIX
- 外国株式: MSCI KOKUSAI
- 国内債券: NOMURA-BPI (総合)
- 外国債券: FTSE WGBI (除く日本)

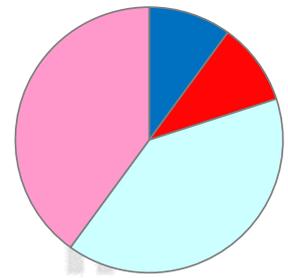
#### 積極型



#### 成長型



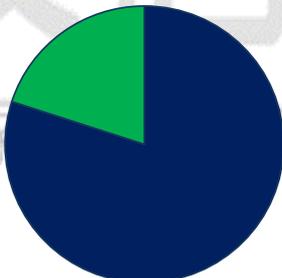
#### 安定型



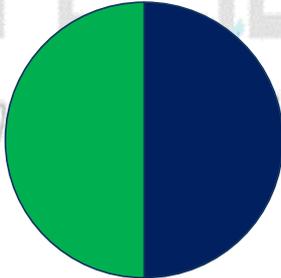
### 2資産型

- 世界株式: MSCI ACWI (含む日本)
- 世界債券: FTSE WGBI (含む日本)

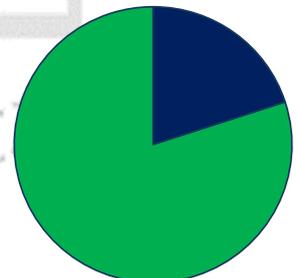
#### 積極型



#### 成長型



#### 安定型



## <純資産上位ファンド(毎月および隔月決算型を除く):2019年6月末の運用状況>

当資料は「インベストライフ」のために、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出、作成しています。特定の投資信託による投資の推奨を行うものではありません。  
※ファンド名をクリックすると「投信まとなび」でそのファンドを見ることができます。

「長期投資仲間」通信「インベストライフ」のその他の記事はこちらからご覧ください。  
<http://www.investlife.jp/>

今回順位	前回(19年3月末)順位	運用会社名	ファンド名	トータルリターン				リスク	1万円ずつ積み立てた場合の投資額に対する騰落率				1万円ずつ積み立てた場合の月末資産額				2019年6月末		イボットソン分類
				1ヵ月	1年	5年(年率)	10年(年率)		10年(年率)	1年12万円	5年60万円	10年120万円	2000年1月~234万円	1年12万円	5年60万円	10年120万円	2000年1月~234万円	純資産(億円)	
1	1	レオス	ひふみプラス	2.09	-12.91	12.51	-	-	-3.75	23.52	-	-	11.55	74.11	-	-	5,870.2	36,898	国内株式・キャッシュバランス型
2	2	野村AM	野村インド株投資	-1.57	0.21	10.36	8.39	26.23	2.91	18.89	64.75	-	12.35	71.33	197.70	-	4,325.6	26,090	外国株式・インド型
3	3	日興AM	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	7.13	1.95	-	-	-	3.00	-	-	-	12.36	-	-	-	4,125.8	9,944	外国株式・世界型
4	5	AM-One	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	3.26	3.45	-	-	-	7.32	-	-	-	12.88	-	-	-	4,047.0	17,370	外国株式・世界型
5	4	日興AM	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	7.14	1.94	-	-	-	3.01	-	-	-	12.36	-	-	-	3,755.2	14,449	外国株式・世界型
6	6	フィデリティ投信	フィデリティ・日本成長株・ファンド	2.51	-11.43	6.51	7.44	19.22	-2.99	7.81	51.93	59.70	11.64	64.69	182.31	373.71	3,549.8	21,452	国内株式・大型成長型
7	11	三井住友トラスト	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	4.75	6.73	-	-	-	6.05	-	-	-	12.73	-	-	-	3,358.6	10,612	外国株式・世界型
8	10	ゴールドマン・S	netWIN GS インターネット戦略Bコース(為替ヘッジなし)	2.92	9.53	16.81	16.88	24.20	7.20	49.84	155.46	235.05	12.86	89.91	306.55	784.02	3,024.8	15,071	外国株式・北米型
9	7	大和投信	ロボット・テクノロジー関連株ファンド-ロボテック-	6.88	2.26	-	-	-	3.67	-	-	-	12.44	-	-	-	3,001.4	12,598	外国株式・世界型
10	8	野村AM	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンドAコース(為替ヘッジあり 年2回決算)	1.11	3.43	-	-	-	3.05	-	-	-	12.37	-	-	-	2,997.4	10,797	外国債券・世界型(円ヘッジ)
11	9	さわかみ投信	さわかみファンド	4.54	-7.75	5.90	7.23	18.92	-3.38	7.60	49.54	73.07	11.59	64.56	179.45	404.98	2,902.5	23,869	国内株式・大型ブレンド型
12	12	三井住友DS	グローバルAIファンド	4.91	1.88	-	-	-	3.26	-	-	-	12.39	-	-	-	2,235.3	15,802	外国株式・世界型
13	15	日興AM	インデックスファンド225	3.39	-3.09	8.43	9.31	19.73	-1.59	15.35	69.95	88.28	11.81	69.21	203.94	440.57	2,234.1	5,837	国内株式・大型ブレンド型
14	13	ゴールドマン・S	GSグローバル・ビッグデータ投資戦略Bコース(為替ヘッジなし)	2.71	-3.02	-	-	-	-1.67	-	-	-	11.80	-	-	-	2,156.5	11,246	外国株式・世界型
15	18	日興AM	グローバル・フィンテック株式ファンド	4.18	6.10	-	-	-	5.54	-	-	-	12.66	-	-	-	1,953.9	16,170	外国株式・世界型
16	16	BNYメロン	モビリティ・イノベーション・ファンド	6.74	-10.45	-	-	-	-1.35	-	-	-	11.84	-	-	-	1,924.0	8,204	外国株式・世界型
17	17	AM-One	日経225ノーロードオープン	3.40	-3.27	8.11	8.92	19.68	-1.70	14.52	66.48	81.21	11.80	68.71	199.77	424.03	1,894.6	14,898	国内株式・大型ブレンド型
18	19	アムンディ	SMBC・アムンディ プロテクト&スイッチファンド	1.83	2.30	-	-	-	2.68	-	-	-	12.32	-	-	-	1,866.4	10,090	アロケーション・リスクコントロール型
19	26	東京海上AM	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	0.63	1.38	-	-	-	1.38	-	-	-	12.17	-	-	-	1,821.6	11,235	アロケーション・安定型
20	21	セゾン投信	セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	2.21	2.89	4.48	6.93	12.00	1.79	9.09	41.98	-	12.22	65.45	170.37	-	1,810.9	14,654	アロケーション・やや積極型

対象は追加型株式投資信託のうち2019年6月末時点で1年以上の運用実績があるもの(毎月・隔月決算型、ETF・DC・SMAなど専用投資信託を除く)。積み立ては税引き前配金再投資、計算月数分を運用したものとす。例えば1年の場合は2018年6月末に1万円で積み立てを開始し、2019年5月末投資分までの2019年6月末における運用成果とする(2019年6月の積み立て額は入れない)。出所:MorningstarDirectのデータを用いてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンが作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせは「投信まとなび」のお問い合わせメール(<https://www.matonavi.jp/inquiry>)にてお気軽にご送信ください。